友愛婦人

大正六年六月二十八日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
大正七年六月一日發行（大正七年五月二十三日印刷納本）

友愛婦人第三卷第六號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腸内の病原菌を死滅せしむる唯一の

整腸常備藥 ラクトスターゼ

長壽保命の要素と稱せられたる乳酸菌の製劑たる本品は腸内に繁殖する各種の病原菌を死滅せしむる作用あるのみならず、腸内の腐敗醗酵を制止し、下痢便祕等を豫防治癒せしむる効顯著なる爲め總ての腸疾患小兒の消化不良等に對し整腸藥として賞用せられつゝあり。

傳染病研究所に於て目黑氏の實驗報告に據ればコレラ菌は二分間、チフス菌赤痢菌は十分間に乳酸菌培養基にて死滅することを證せられたり。

▲粉末錠劑の二種あり、各地藥舗に販賣す、實驗報告あり贈呈す。

脚氣に賞用せらるゝ

オリザニン

本邦蛋白化學の泰斗鈴木博士創製の本品は貴重なる新營養劑にして、白米食に因する營養不給殊に脚氣樣症狀に賞用せらる鈴木博士其他の實驗報告を綜合するに食品中本劑の成分を缺除せんか漸次營養不良となり遂に倒死する事實を動物試驗に依り實證せられたり。

故にオリザニンは營養劑として脚氣、小兒の營養不給、食慾不振、產前產後及病中病後等の營養劑として好適する事を確證せらる。

▲液劑百瓦入、越幾斯劑四十五瓦入の二種あり

▲實驗報告書御申越次第贈呈す

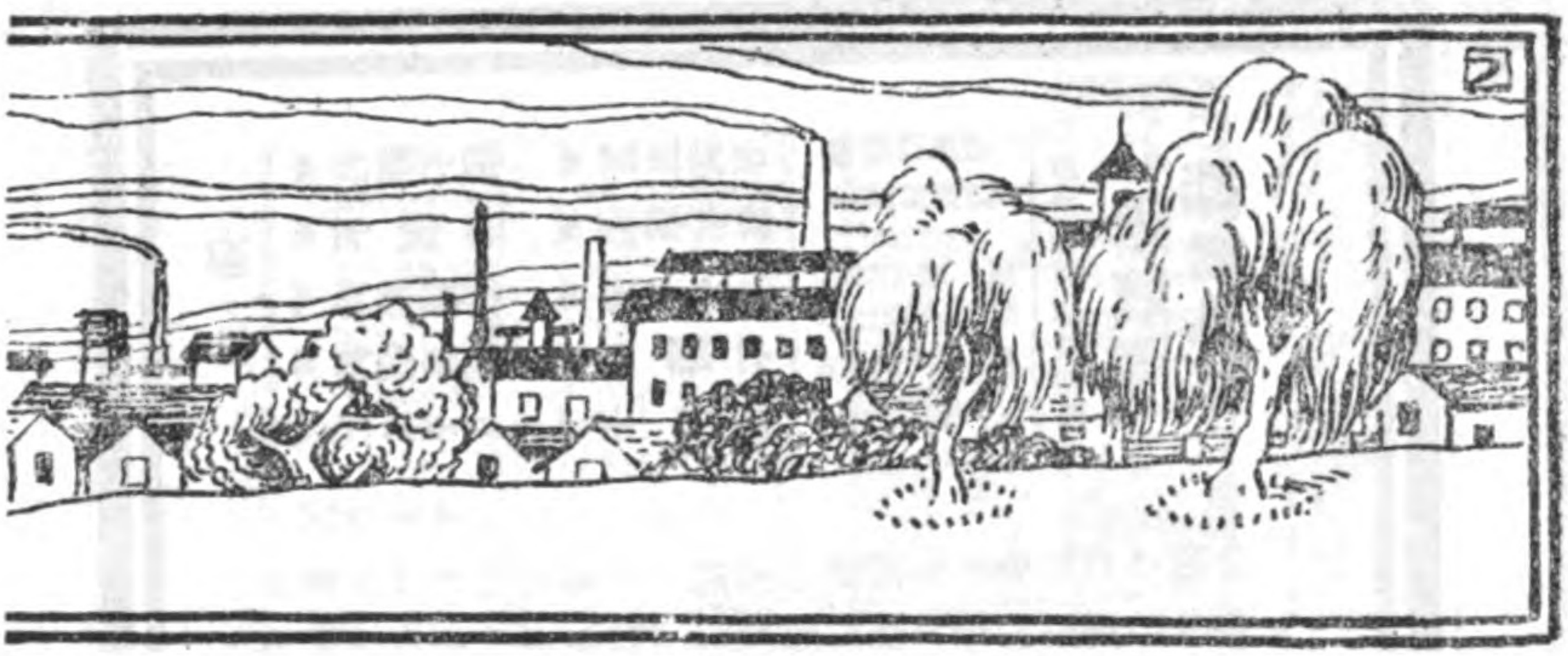
東京室町

三共株式會社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

効能

▼▼▼



『友愛婦人第三卷第六號』目次

表紙

夏……

卷頭

初衣がへ……五

本欄

婦人の感化力……友愛會々長　鈴木文治……六

人間は何か……婦人部顧問　新渡戸稲造……八

西洋の女と日本の女……男爵　澁澤榮一……一〇

工場めぐり

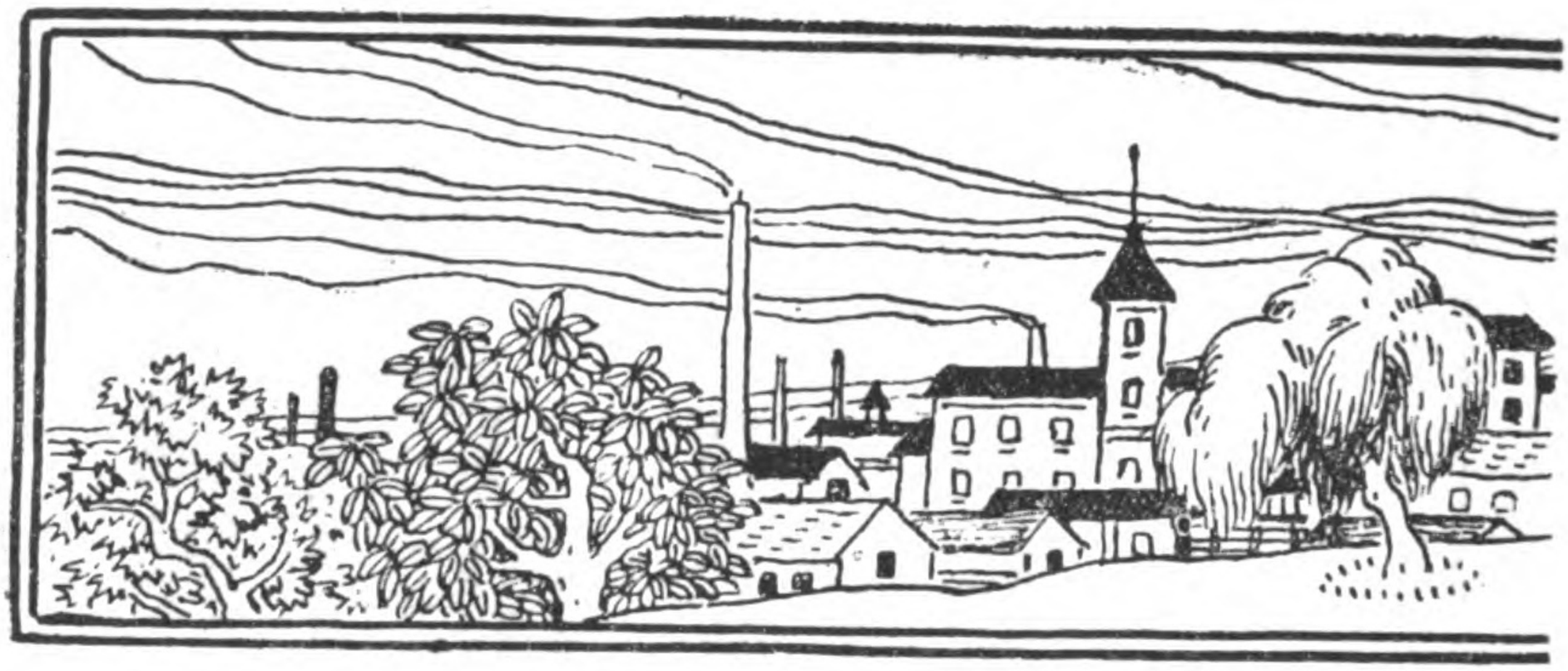
「栗原稻子刀自の苦心談……婦人部記者　室伏靜子……一五

工賃（小說）……平澤紫魂……一八

人間のねうち……常磐松女學校長　三角暢子……二三

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



貞女お雪（二）……若葉子…二八
お山の大將（オトギバナシ）……三三
廢物利用の美しい絞り染……高村たか子…三六
オヤ〳〵（笑話）……三八
初夏の身嗜み……美容研究所主任　小口みち子…三九
氣の利いたお茶うけ……山吹…四一
梅雨期に起り易いリウマチスの手當……醫學士　樫田十次郎…四二
經濟的滋養飯の炊き方（三種）……みどり…四三
よい米屋を紹介します……一記者…四四
櫻肉のお料理……料理の友主筆　田村なか子…四六
夫婦藥鑵（お伽講談）……三浦樂堂…四八
浮世小路八丁堀の宵……さすらひ…五一
判じ繪……五三
友愛文藝……五四
婦人部だより……五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

言論界の權威

「能率增進」

（月刊）

■本誌の使命■

本誌は深遠なる學理と着實なる經驗とを網羅して最も多方面の生活に一大革命を與へんとす。

發行所　牛込區早稻田鶴巻町二百十二番地

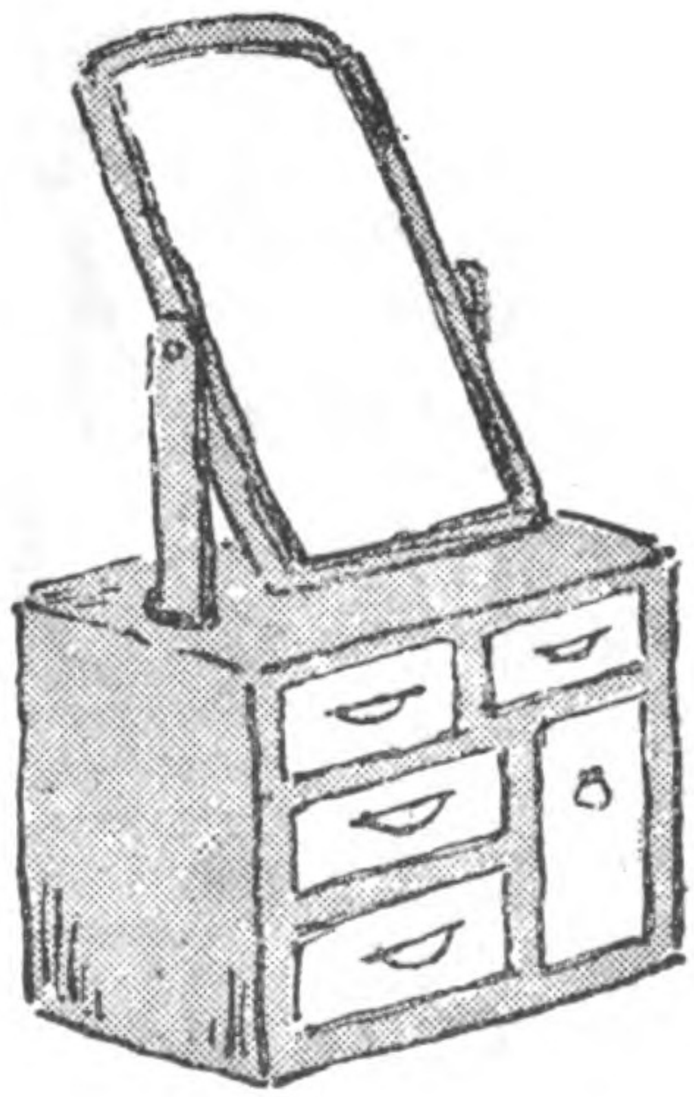
エフイシエンシー社

電話本所三九九八、四四七五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛婦人

六月号



第三卷第六號

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の感化力

友愛會々長　鈴木文治

此間お亡くなりになりました、後藤内務大臣の夫人は、名高い賢夫人でありました。御結婚後三十有餘年の間、澤山の内助の功の物語がありますが、わけても御臨終の際の物語は、人の妻として、誠に勇ましい美はしい物語であります。

夫人の御病氣に罹られたのは、久しい前の事でありました。けれども丁度議會開會中のことゝて、御主人の後藤内務大臣は、國家政治向の事で毎日頭を痛めておいでになりますので、つとめて御病氣のことは隱して御出でになりました。そして人の見ぬ時は階段を上るにすら溜息太息の有樣であるに拘らず、男爵の御歸邸の折には、常にニコ〳〵と笑顏を以て迎へられ、且つ其日々の勞苦を慰められるのが常でした。此無理に無理を重ね、我慢に我慢をし拔いた結果は、議會が濟み、これで一安心と思ふ間もなく、ド

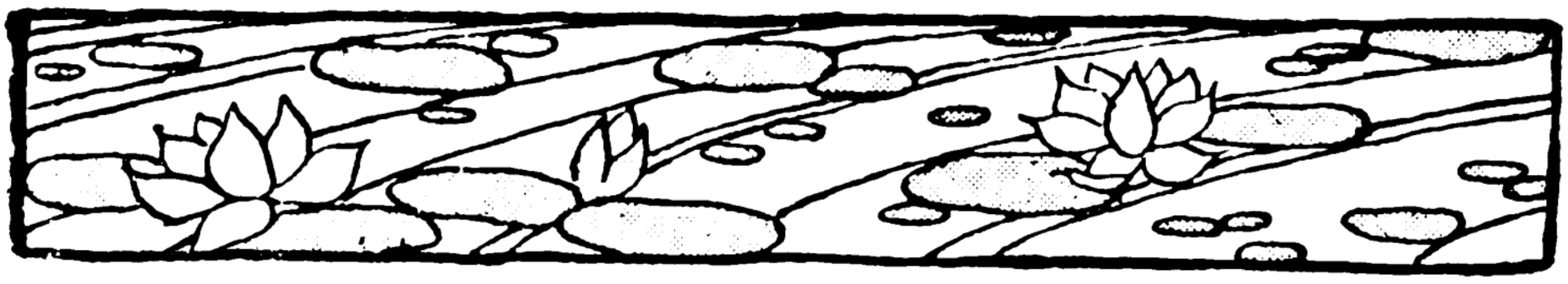
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ッと病の床につかれ、藥も醫者も、親近の看護も其効なく到頭歸らぬ旅へと赴かれたのであります。

これに似たお話は、英國の大宰相グラッドストーン翁の夫人も聞えた賢夫人でありました。

一生にもあります。グ翁の夫人は馬車に同乘して議會に赴かるゝ際、如何なるハヅミか夫たゝ或日國家の重要事に就て大演說を試みるために、夫人と馬車の戸に右の小指を挾んで血が浸染み、ちぎれる程の痛みを感じました。併し夫人は飽くまでもヂット我慢し大事の前に、御主人の胸を少しでも騷がしてはならぬと、ハンケチに小指を包み、素知らぬ顏で一緒に議會に行かれいよ〳〵大演說も成功の裡に濟んで、歸館の際に、初めて此事を漏されたといふことであります。

身を以て自分の良人を愛するといふことは、婦人として誠に氣高い行爲であります。併しこれは夫婦の間許りでは ありません。親に對し、子に對し、兄弟姉妹に對し、友人知己に對し、婦人の決心次第では、實に尊い感化を及ぼすことが出來るものであります。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人間は何か

農學博士
法學博士　新渡戸稲造

一體人間はどんなものか、卽ち人間なるものに定義を下すために、私は可成澤山の書を見たが、其の中には、今私が云はふとする如きものは一つもなかつた。

卽ち私は、「人間は着物を着る動物である」と思ふ。ある學者は、人間は笑ふ動物だと云ふてゐるが人間の外に笑ふ動物はいくらもある。また或る人は人間は道具を使ふ動物であると云ふてゐるが、彼の蟻の如きは、餌を見附けると之れを自分の巣へ持つて來て、其の上に土をかけて、其れから口で礫をくはへて土の上をたゝいて置くやうな器用なことをするから、やはり道具を使ふものは人間ばかりだとは云へない。又ある學者は、人間は羽根のない二足の動物であるとも云つてゐるが我々人間に最もよく似てゐる人猿もやはり羽根のない二足の動物だと云ふことが云へる。

□

其處で私はどうしても「人間は着物を着る動物である」と云ひたい。勿論猿も着物を着るがあれは自ら着るのではなくて人から着せられのである。御承知の通り動物の身體には一面に澤山な毛が生えて居るから、敢へて着物を着る必要はない。而して此の毛は夏は薄く、冬は厚く極めて便利に脱けたり、生えたりする。

けれども人間は着物がなくては一日もゐられない。であるから昔から衣食住と云つて、人間の生活

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

になくてならぬ三つのものゝ中でも着物を一番眞先に數へて居る。

故に文明の程度を計るにも着物で計る。併し昔非常に早くから開けた西洋のある國では、國民が皆半裸體で居たと云ふ例もあるから一概にさうも云へぬが、先づ大體に於いてよく開けた國の國民ほど着物に就いての智識が進んでゐる。

又一國の風俗、習慣、階級なども着物で計る。例へば、ハッピを着た人を職人なりと云ひ、フロックを着た人を見ては、知事さんだではないかと云ふ。尤も何時ぞや私が東北地方へ旅行した時に燕尾服を着た俥屋が居つた。試みに私は「何故さう云ふ着物をきてゐるのか」と尋ねると「何んでも之れが古着屋で一番安すかつたから買つたのだ」と云つてゐた。がまあかう云ふ例は極めて稀れである。

□

また男女の區別も着物で計る、例へば頭はクリク坊主でも幅の廣い帶をめてゐるとあれは女だと云ふではないか。之れについて一つ面白い話がある丁度六つ位になるいたづらの太郎さんがお池に入つてあそんでゐるのを見て、

「母さん、私も太郎さんと御一緒にお池へ入つてあそんでもいゝこと？」と云つて母の許しを得に來たお母さんは、

「いけませんよ、女は坊ちやんの眞似などなさるものではありません」と云つて云ひ聞かせると、花ちやんは「だつて裸體になれば男も女も一緒でせう」と云つたと云ふ話がある。

又私は時稀燕尾服を着て宮内省へ行くことがある、之れを見附けた往來の子供達は「アヽ偉い人が來た、あれは屹度天皇陛下だかも知れない」なんて小さな聲で話し合つて居る。も少し甚しいのは精神狀態まで着物で決める。彼の墨染の衣を着てゐるとさも世の中を悟つた人の樣に思ふのはそれであるが、其の觧は、ともすれば、唯外面ばかり計る斯くの如く、着物はあらゆるものゝ標準になつて嫌ひがある。墨染の衣を着た坊さんが實は大した欲張坊主であつたりする事がよくある。

又ある階級の婦人が着物に餘り重きを置いて、身分不相應な身裝をするために、終に其の貞操を汚がしてあたら一生を棒に振つたと云ふ例も決して少くない。故に此の點は十分に謹むべきである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西洋の女と日本の女

男爵　澁澤榮一

古今東西の別なく女は何處まで行つても女で、何時も優しい精神と温かい愛情とを持つてゐらるゝのでありますが、婦人の社會的位置や周圍の事情を比べて見ます時は、東西自ら其の趣きを異にしてゐるものがあります。

由來東洋にあつては昔から婦人に對する仕向けが餘りに壓迫的であつたのであります。其れ故萬事が消極的に敎育され、「女子と小人は養ひ難し」とか、「近づけば、不遜、遠ければ恨む、押へれば泣く」と云つたやうに殆ど子供と同じやうに取り扱はれて居つたのであります。

遠く其の歷史を辿れば、支那三代六朝からで、孔子さへ斯く說いて居たのでありますが、之れは聊か間違つてゐると思ひます。さりとて一概に東洋流の婦女敎育が惡いと云ふのではありません。少し考へ方が誤つて居りはしないかと謂ふのであります。斯樣な敎育を享けて來た支那の婦人中にも中々氣丈夫な毅然した方が澤山あります。

■彼の孟子の母は■

孟子が學業半ばにして歸つて來たのを見て、丁度織りかけて居た處の機を惜しげもなく斷ち切つて其の不心得を戒めた、斯樣な偉い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母親を持つたがために、孟子も世界に名高い學者になることが出來たのであります。此の外隨分立派な婦人が澤山ありましたが、敎へは一つであつたのであります。禮記の中にある小學の敎へも家を守ることが主で、其の儘日本に傳はつたやうであります。併しながら我が中古の婦人中には斯る敎訓に甘じないで、立派に名を成した賢い婦人がありました。曰く紫式部、曰く清少納言、曰く赤染衛門、曰く何某と時の世を驚かした者許りであります。それよりして世は封建に移り、強い者が暴威を揮ふ、弱い婦人は極端に壓へ附けられて、終には一つの道具扱ひに迄されて終つた。

■彼の織田信長が■

齋藤道三の娘を娶つて之れを道具に道三を斃した如く、何れも自分の權勢を擴げるための政略結婚であつて、少しも愛情が伴つて居なかつたのであります。愛を以て婦人の生命とする婦人の身に取つては之れ程不幸なことはないのであります。此の惡風習が德川の代に迄續いて貝原益軒先生の女大學なども此の途から組み立てられ、今日も尙其の名殘りを留めて居りますが、今日の時勢は其の頃の世の中とは丸で違つて來て居りまして女も男同樣に敎育を享け、其の性能を何處迄も發揮することが出來るので、女も社會の一員として立派に活動する途が拓けてゐるのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

併しながら婦人は先きにも申した通り婦人特有の温かい愛情と、柔順な心を持つてゐる。其れが美點であります。此の點を見ても男子とは餘程性格が違ふ。男には又男特有の性格がある。而して此の兩者が相俟つて初めて

■立派な進歩■

を遂げ得られるので、此の女子特有の愛情、柔順な貞淑な精神を捨てゝ男子に近かづかうとしたら何うでありませう。無暗に「新らしい女」などと男に楯をついて、謙讓な美しい特性を失つたならば何となりませう。性は何處迄も女性、即ち婦人です。之れは何ともがいて見ても仕方のない話で、若し斯樣な婦人があつたとすれば、女子にして女子に非らず、さりとて男子には無論あらず、結局男女中性のものになつて終ふ外ありません。中性が女子の天分であると云つて、婦人の特性を捨てゝ家庭や子供を顧みなかつたならばどうでありませう。徒らに覺めよ〳〵と叫んで男を同僚扱ひにしたらどうでありませう。聊か考へ物ではありませんか、私は之れ迄三度び

■米國並に歐洲■

へ旅をしました。其の間見聞した西洋の婦人に就いての感じを申して見ますと、米國に於ける婦人は、自分の國が戰爭のために、大金持ちになつたのを見て、俄かに贅澤を始めたことであります。中流階級に屬する者が此の富と反對に借金を拵へて來たのであります。

どう云ふ譯けかと段々聞いて見ると、此の中流社會の夫人連が上流婦人の眞似をして自分の夫を說いては無理遣りに自働車を購はしめ、其れに乘る事を以て無上の快樂としてゐるのであります。借金はつまり此の自働車が拵へたのであります。

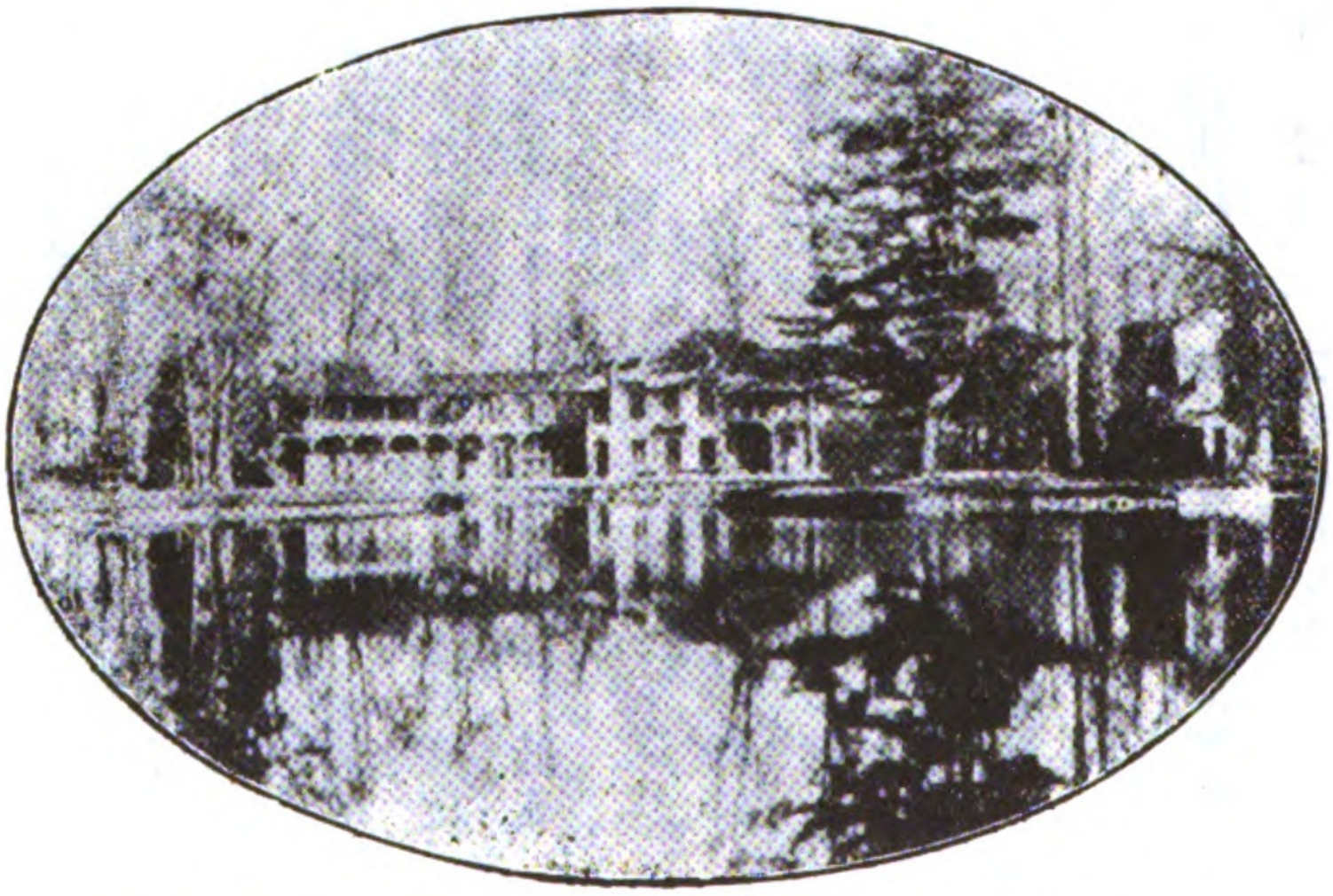
私は紐育に滯在中二人の婦人記者に訪問されたことがあります。總べてに活潑で、談話を交はしてもキビ〳〵してゐる、文學の點も優れてゐませう。併し私共には何となく物足らぬ處がありま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した。話題は教育問題に移つて私は先づ米國では小學校から大學迄男女學生を一緒にして教育してゐる。妙齢の男女學生が肩を並べて登城する、お互に戯談も云ひ合へば、連れ立つても遊ぶ、かゝる制度の下にあつて風儀の紊れるやうなことはないかと問ふて見ました。

すると二人の婦人記者は、成る程東洋の方々からは其の疑惑は一應道理であるが、我が米國に於いては其の點は少しも心配はない、男女が愛情を以て交際するのは當前ではないか、若しも不倫な事があれば自然と天罰があるとから答へたのでした。

之れには、何とも言葉の返しやうがありませんでしたが、更に私は假りに法律も文學も智育も悉く



男女平等であるにしても、男子には遙かに女子より優れた體育を持つて女子の遠く及ばない目覺ましい仕事をしてゐる。此の點に於いては女子も一歩を譲らなければならぬだらう。然るに貴國の婦人方は、此の優れた男子に對して荷物を持たせたり、甚だしきは靴迄脱がせてゐる。例へ劬はる心持ちで男子から進んで之れに當るにしても、婦人たるもの須らく、

■男子の本領■

を尊重して辭退されてはどうか日本婦人は教育の程度、外交振り共に貴國婦人に及ばぬ處はあるが此の點に於ては立派に了解してゐる、之れが東洋婦人の長所である と申したので道の婦人記者も、此

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の點は同感である、以後決して夫に靴の紐を解かせるやうなことはせぬと云つて深く首肯いて立ち去つたことがありました。

かゝる點は東洋婦人の最も長所とする處でありますが、何う云ふものか、從來の東洋男子は、此の誇るべき美德を思はずして、徹頭徹尾頭から抑へ附け、家庭の內助、即ち消費經濟を以て、婦人の全部とし、偏狹つた良妻賢母を强てゐたかの感があります。勿論從來の婦人には、智識教育共に不足の缺陷がありました。子供は母親を何も知らぬ者のやうに思ひ込んで了ふ、難解しいことを母親に聞いても駄目だと考へさして了ふ、之れも從來の日本としては、

■無理もない話■

でありますが、今は教育の途が十分に拓けて幾らも勉强出來ることになつて居ります。一般婦人がそんなに高い教育を受ける必要はありませんが、子供に地理や歷史の質問をされても卽座に答へ得る丈けの教育は受けておかねばならぬことゝ存じます。白樂天の詩に（支那の歌詠み）「人生婦人の身となる勿れ、百年の若樂他人に由る」（此の意味は人間は女には生れ度くないものだ、一生の幸、不幸も其の連れ添ふ夫次第だと云ふ）とありますが、之れは遠い昔のことで、今日では女子の社會上の位地も進んで男女協同國家的に働いてゐるのであります。唯戒むべきは此の中性に陷らず理解ある婦德を發揮せられむことを切に希望いたすのであります。（在文責記者）

お笑ひ話

◎

夫「お前の足は馬鹿に大きいやうだ。」

妻「あなた、前もつてお調べになつたのでせう……。」

◎

母「お隣の富子さんは　ほんとに親の顏に泥を塗つたね。」

君子「うそよ泥なんか塗らないわ、昨日なんか白粉を塗つてゐたの。」

◎

陶器屋「エ、茶碗の御用はありませんか。」

凸坊「まだ破りませんから……」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の身一つで大工場主となつた

栗原稲子刀自の苦心

友愛婦人記者　室伏靜子

▼女傑栗原稲子刀自は、今こそ本所區柳島横川町に宏大なる工場を構へ、栗原紡織工場主として、押しも押されもせぬ歴とした實業家だが、其の昔は栃木縣佐野在の片田舎から身體一つで上京して、繊弱い幸八氏を抱きながら、世の荒い波風と戰つて遂に今日の成功を見られた其の努力奮闘の跡は、眞に立志家好箇の模範である。

▼稲子は栃木縣安蘇郡植野村の資産家に生れたが、其の祖父に當る人は、因循で舊幣な土地と時代には稀に見る進取の氣象に富んだ人であつたから、有りとあらゆる新事業を計畫したが、其の結果は皆不成功に終つて唯借財を増すのみであつた。

此人には不幸にして男の子がなかつたので長女に番頭を娶すことゝなつたが、此の人は唯温厚で忠實一方の人であつたから、家政は益々不如意の度を増し、祖父の死亡と共に俄かに破綻の悲境に陥つたのである。

此の時稲子はまだ十六歳の小娘であつた。

▼今迄はお店のお嬢様と呼ばれて出入の人々もチヤホヤしたが、店が左まへになるにつれて自ずとウトく〳〵しくするばかりでなく、中には何のかのと聞くに耐へない蔭口を云ふ者さへ出來て來た。之れを聞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く度に稲子は幼心にもシミ〳〵と人の心の頼みなさを感じて泣いた。けれども性來勝氣な稲子は此の憤慨によつて終に一家再興のことを堅く心に誓つた

以來稲子の身の上には樣々な不幸が降つて來た。土地の資産家から借りた金のために、無理やりに稲子を嫁にと强談された。けれども稲子には此の時既に許嫁の人があつたのが、結局脅に腹は代へられず、終に此の無法な結婚を餘儀なくされた。

固よりかうした縁の永く續かう筈もなく、此處を去つて又他家に嫁いで幸八氏を產んだが又之れも間もなく不縁になつた。

▼とかうするうち家道は益々衰へて、稲子は幸八氏を抱いて三度嫁せざるを得なかつたが、勝氣な稲子は到底片田舍に僅かばかりの財產を守つては居られない。「何か仕ませう！」と夫に勸めて上京したのは明治十二年のことである。

上京した稲子は、先づ差當り自分の手に覺えのある機織を以て生計を立てやうと思ひ立ち、取り敢へず賃機を織り初めた。

賃機を織つて生活するのはもう樂だが併しこんな事で終るべきでない、何んでも一事業やらなければと、茲に非常の勉强と儉約をして、少しの資本を殘したので此處で賃機を止めて內機を織ることにした

▼之より稲子の運命は次第に有卦に入つて漸次發展の域に向つたので、今度は本所の林町に小さな家を借りて此處を型ばかりの工場として、寢食を忘れて奮鬪した。當時なりふりにかまはぬ稲子の樣子を見た長屋の內儀達は皆誰れも彼れもあの田舍者々々と稱して稲子の名を知つてゐるものは一人もなかつたと云ふことである。

▼かうした稲子の奮鬪振りは、事業の上に現はれて林町では手狹まになり、若宮町に移つて更に事業を擴張したが、何處までも家庭的には不幸な稲子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、三人目の夫が放蕩な爲めに他に情婦を作つて之れと同棲したいばかりに、五十坪の地面と三十坪の工場とを稲子に遺して離縁して終つた。

併し意志の堅固な稲子は之れにも屈せず、此の時から栗原に復籍して、僅かに國許を出る時持つて來た衣類其の他を入質して二百圓の金を作り、之れを流動資本として奮闘を續けた。此の時が丁度明治廿二年であつた。

▼女一人で工場を支配して行くと云ふことほど辛いことはあるまい。誘惑の手はかう云ふ場合には必ず前後から攻め立てるものである。まして相續人の幸八氏は僅か十二三であつたから帳場の番をさせて置いても何時の間にかもぬけの殼になつて終ふ。

かう云ふ風であつたから誘惑の手は得たりとばかりに其の形を代へては、現はれて來た。次いで明治廿五六年、丁度日清戰爭の前には不景氣が極度に達して品物ははけぬ。從つて流動資本は止まると云ふ譯けで、止むを得ず稲子は晝間工場で勞れた身體を更に夜店に迄露したが茲では僅かに三晩に双子縞一反位しか賣ることが出來なかつた。

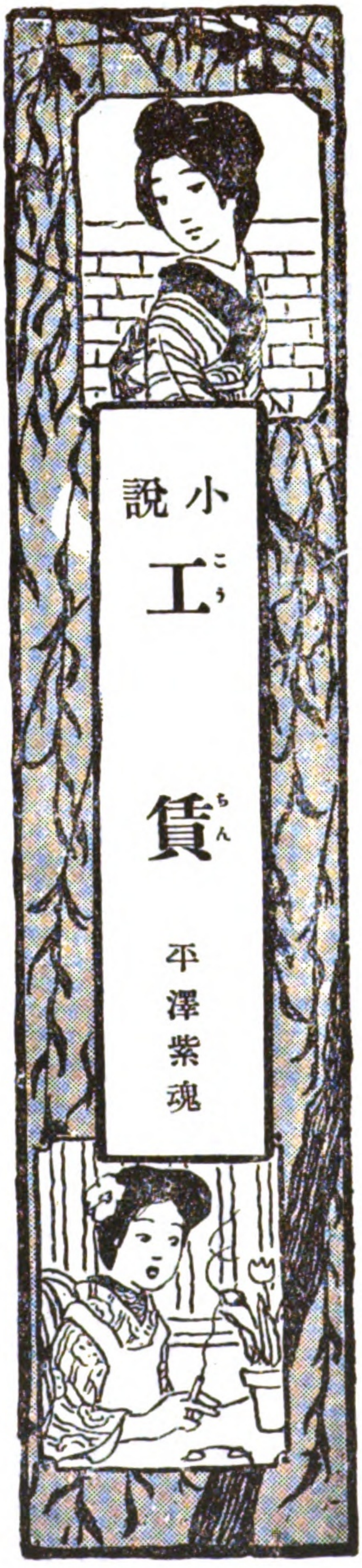
▼斯くの如く有ゆる誘惑と不景氣の風を凌いで行く中に現在の場所にタオル會社の賣物が出たので直に之れを買ひ受けて今度はモスリンの紡織を初め、相變らず奮闘に奮闘を重ねて終に今日の隆盛を見るに至つた。

稲子刀自は今日の成功は東京高等工業學校に由る處が尠くないと云はれて其の謝恩の意味で先年同校に一萬圓を寄附されたと云ふことである。

稲子の一生は精神的にも亦物質的にも隨分悲慘な生涯であつたが其れにも屈せず努力した結果は終に成功の冠をいたゞき、今は栗原工場の女王として幸八氏夫妻の懇ろな孝養を享けらるゝ幸福なる身の上になられたのである。

* * * *

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



上

勘定袋を懷ろに忍ばせて、工女さん達はいそ〳〵と工場の門を出た。其華やかな顏！　其大勢の人波、丁度ぱつと咲いた櫻の花が淸い水に美しく流れて行くやうであつた。

お靜だけは獨りしよんぼりと、悲しい顏をして、其華かな人波に混つて流れてゐた。お靜にはお友達の誰もが喜ぶ、此お勘定日が一番辛い日であるのだ。父が亡くなつてから母子三人。賴る人も無いので、姉のお靜は工場通ひ、妹のお園は酒場の女、母親は宅で手內職をして微かな暮しをしてゐるのだが、妹が酒場で儲けるお金よりも、姉のお靜が工場で働く工賃の方が尠いので、お勘定日になるといつでも母親はお靜に機嫌が惡いのである。貧乏してゐればこそ、お母さんの云ふ事は、御無理でもないけれど、妹と同じやうに酒場で働けなぞとは、お母さんもあんまりな、と、生の親ながらもお靜はツイ怨みの心も出た。

フト心づくと、お靜は通ひなれた場末町を獨りとぼ〳〵歩いてゐた。と、

「姉さん。」と忍びやかな娘の聲。

「まあ園ちやん。」

黃昏時を窃ッと露路から出たのは妹のお園であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「姉さん、私先刻から待つてゐましたわ。」

「左様」と、いぶかしげに姉が妹を見ると、

「姉さん之れ」と、姉の手にそつと渡したのは紙包。

「何なの」とお靜が聞く間も無くお園はひらりと何所へとも無く、姿を隱して仕舞つた。

「まあ！」とお靜は吃驚して、妹の姿をあちこち尋ねた、が、何所へ行つたかわからぬので、不思議ながらも渡された紙包を開いて見ると、中から現れたのは、紙幣と銀貨を取混ぜて五圓のお金それに手紙一通。急いで手紙を讀んで見るとそれには斯樣書いてあつた。

「姉さん、此お金を姉さんが働いたお金と云つて、お母さんに渡して下さい。左樣したら此度阿母さんの御機嫌が直るわ。」

さては園ちやんが、私の苦しい心を救はうとしてお金を呉れたのかと、お靜は感謝の涙をはら〳〵と零した。

中

其晩の母親の機嫌はよかつた。工賃さへ餘計とれるならば、人に卑しまれる酒場の女となるよりは人並に大道を歩ける工女の方がよいと云ふが、母親の心である。母親の喜ぶ顏を見て、お靜は近頃になく心安さを覺えた。初夏の風は爽かに吹き、手狹な庭に紫陽花の一本が咲いてゐる夜である。お園が歸つてからと思つたが、明日の勤めがあると思ひ返して、お靜が床に就いたは十時過ぎ。

それからどの位過ぎたらう？

はッと、物音に驚いて眼を覺すと、一間しかない家の、枕邊で荒い聲を出してゐるのは母親。其前にきちんと座つてゐるは妹のお園である。

「だからさ、什麼してお金を無くしたのかと聞いてゐるぢやないか」と罵つたは母親。

「什麼したつて、唯無くしたんだわ」と、お園は涙聲である。

「五圓と云へばお前大金だよ」と、母親の聲は益々尖つて、

「其大金を唯無くしましたで濟むと思ふのかい。」

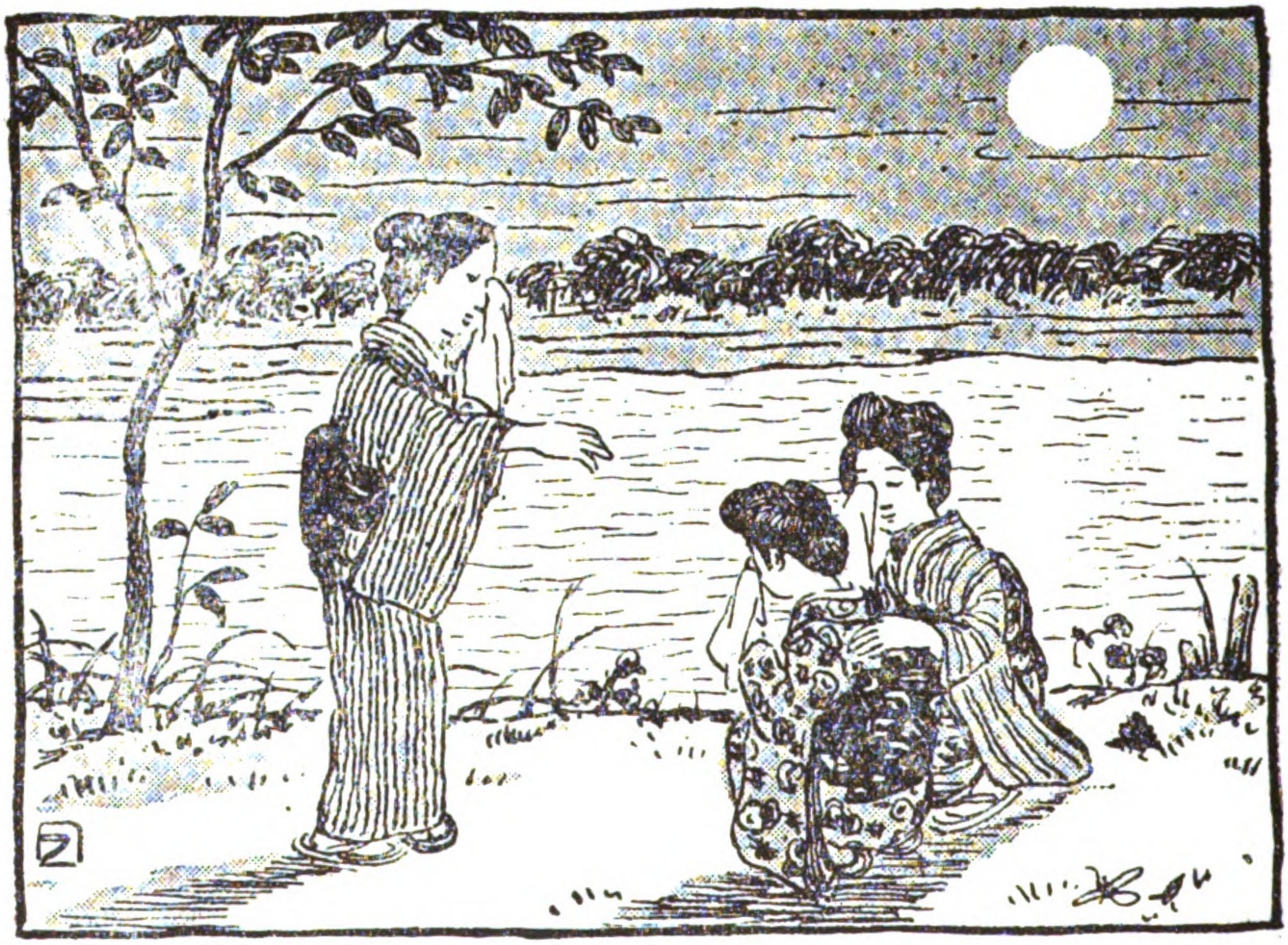
「濟みませんお母さん」と云つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お園は手を突き、
「之れから氣をつけますから、何卒ぞ勘忍して下さい。」
「まあ何て子だらうね親不孝な、お靜をごらん、今日は大層も無いお金を持つて來たんだよ。」
寢ながら聞いてゐるお靜は、お園にすまない心が胸一ぱいになつて、思はず手を合してお園を拜むだ。
「お前お金を落したなぞ云ふは嘘だらう」と母親は言葉を次ぎ、「何だらう、阿母さんの眼を欺さうと思つて、いゝえ左樣だ、お前何だらう。男でも出來たんだらう。」
「まああんまりな阿母さん。」と、お園はとうとう泣き出して、
「私いくら酒場の女だからつて、心の底迄腐りはしないわ。」
「何だつて……阿母さんに口答へして、そんな立派な口が利ける位なら、さつさと五圓のお金を出したがいゝぢや無いか。」
「其お金はだから落し……」
「お默りよ」と母親は怒鳴つて、
「阿母さんは未だ老耄はしないんだよ。」
「だつて阿母さん。」
「さあお金をお出し親不孝が、さつさと出さないと眞實にぶんなぐるよ。」
「あら阿母さん。」
眞實に擲つたらしい。どたんばたんと物音がする。眼つてゐた振をしてゐたお靜は堪まり兼ねて飛起き、寢卷の儘で母親の手に縋り着き、
「阿母さん其お金は私が貰つたのよ。」
「えゝッ」と母親は吃驚した。
「園ちやんがね、私を可哀相に思つて……」と云ひ初める言葉を妹は狽てゝ遮り、
「嘘よ嘘よ阿母さん、姉さんは何にも知りはしない事よ、私が落したに違ないわ。」
「園ちやん。」と姉は妹の背に手をかけて、
「園ちやんがそれ程迄に私の爲めを思つて呉れるのは、呉れるのは眞實に有難いけれど、でも其爲め園ちやんを苦しめるは、私の心がすまないわ。」
「何を云つてるんだい。」と母親は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

相變らず荒々しい聲で、
「わかつた、兩人が共謀になつて阿母さんをいじめやうてんだね」
「まあ阿母さん！」と姉妹は同時に辛ら相に叫んだが、お園は其儘母親に縋りつき、
「ねえ阿母さん、後性だから姉さんに、酒場の女になれなんて云はずに下さい。酒場の女なんてそらあ眞實に辛い事だし、それに人間らしい商賣ぢや無いんだもの、姉妹のうちせめて一人だけでも眞面目な、人間らしい生活をしなくつちや亡くなつた阿父樣にすまないわ。」



「ぢや何だね、」と母親は眼を光らせて、
「阿母さんがそれぢや、お前さんを酒場の女になぞさして、阿父さんに申譯が無いつてんだね。」
「そ、そんな事を云つてゐるのぢやないわ」とお園はおどおどして、
「私はね此上どんな辛いつとめでしますから、お願ひよ、ねえ阿母さん、姉さんだけは眞面目な工場勤めをさして置いて下さい。」
「はい〳〵」と、母親は皮肉に云つて、
「眞實にね、阿母さんの爲めに、お嬢樣達に難儀をかけてすみませんでしたね、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いゝからさ、阿母さんが死んで仕舞へば、それでいゝんだよ。阿母さんの心も知らずにさ。」

姉妹は悲しい眼を見合した。其眼から涙がほろりほろりと……。

下

月はあれど雲に隠れ、川波の音もの凄く聞える真夜中の八郎堤の上に、影の如く現はれた両人はお静とお園とである。

「姉さん。」

「園ちやん。」

「何故、工場で働いたお金が、酒場の女より酌いんだらうねえ。」

両人は左様云つたきり、暫時の間黙つてゐた。折柄雲を出た月の光で透して見ると、両人は涙ながらに川岸の礫を拾つて、袂の中に入れつゝあつた。人を呑む悪魔のやうに吠えてゐる六郷川は白歯のやうな浪頭を起てながら、直く眼の前に底も知れずに流れてゐる

「何故、工場で働いたお金が、酒場の女より酌いんだらうねえ」と両人のうちの一人が又繰返して、吐くやうに云つた。両人は身體と身體とをしつかりと縛り合つた。死んでも姉妹の縁の切れないやうと願ふやうに！

「ナムアミダブツ、ナムアミダブツ……」

ざぶりッ。今や両人が底知れぬ川に身を投げやうとした時。

「まあ〳〵ま待つて」と、息を切らして駆け着けたは母親である。

「わ、わ私がわるかつた、私がわるかつた。」斯様云つて母親は両人の我子を抱きしめた。

「いくら貧乏したからつて、お金にばかり眼がくれて、邪険な事ばかり云つてすまなかつた。」

斯様云つて、母親は我子にあやまつた。

「嘸悪い親だらうと思ふだらうけれど、年頃になつてお嫁入しなくばならなくなるのに、お金がないので、世間の娘さんのやうに仕度をしてやるわけにゆかず、つい悪いと知りながら、酒場へ出ろつて叱つたりして……」

斯様云つて母親は泣いた。姉も泣いた。妹も泣いた。

東の空がうつすら白んで来た。夜が明けるにもう間もあるまい。

＊　＊　＊

母子三人、今は貧乏ながらも睦じく暮してゐる。妹は酒場の辛い稼業に、姉は工場へ、けれども工賃が酌いからとて、叱られる事は無くなつた。けれども何故工場の工賃が、酒場の女の稼ぎ高より、酌いのだらうと云ふ事は、姉も妹も未だにわからない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人間のれうち

常盤松女學校長　三角暢子

勞働は神聖なりといふ事や職業に貴賤なしといふ樣な言葉は、もうきゝ古されて居りませうが、働くといふ事位ゐ、偉い尊い事は御座いません、元來日本の國は大平が打つゞき、他國との競爭もなくて、生活の難儀がありませんでした爲に、女は働かなくてもすみましたのですが、世の中が進むに從つて、物價は高くなり、女だからとてじつとして男の方に養つて戴くといふわけに行かなくなり、又一方女でなければ出來ぬ事があつて、女の手を借らねばならぬ事になりまして、かく澤山の女の方が、斯る工業會社に勤めらるゝ樣になりましたのです。

□自分も勞働者の一人だ

私も矢張り働く女の一人でございます、隨分長く働いてまゐりました、皆さんは會社で工業に從事さるゝ、私は學校で教育に從事してゐましたが、其のする事に違ひこそあれ、一つの職業に就いてゐるといふ點に於ては、私も皆さんも少しの違ひも御座いません、男の方で申せば同じ大學を出ても、工學士もあれば、文學士もありますのとの、相違でございます。

さて世の中に忠義と申す事は、軍人になり戰爭にゆ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かねば、出來ぬと思ふ方があります、決してそうではありません、忠義は軍人ばかりの獨占ではありません、凡そ世の中に一つの職業を持つて、夫に働くのも、國家のためです、卽ち天皇陛下に忠義なのです、皆さんは其の點からいつて、國家の御用をしてゐるのと同じです、皆さんの其細い優しい御手から出來るものが、日本國大勢の人の役に立ち、外國へも出るから、一つのものを拵へますにも、自分は忠義をしてゐるのだ、仙臺萩の政岡よりも偉いのだと思つて、念を入れてしますと、其出來る品物に皆さんの魂が宿つて、立派な品が出來ます、立派な品が出來ると、夫を賣出す會社の信用が高くなるそれが日本の信用になり、それが天皇陛下の御名譽になります、つまり皆さんの一擧一動が、間接に忠義になるのです。

□人間は働かずに生活出來ぬ

併し人間はそんなに人の爲めばかりに、働く事は出來ません、まして私共の樣に中以下のものは、財産も何にもありませんから、自分の生活といふ事を考へなければなりません、其の自分の生活といふ事と、他人のため、國家のためといふ事とは、決してぶつからない樣に社會は出來てゐます、よく親切にかげ日なたなく仕事をする事は、會社の爲めであり御國の爲であると同時に、それは又皆さん自身の爲めであるといふ事を御考へ下さい、即ち自分の信用をまし、收入が多くなりますから、もと〳〵人間社會と申すものは、相見互見で持ちよりで成立つて居るものです、人といふ字を御覽なさい、ノ丶相倚つて成立つてゐます、それで人は自分のためになると共に、他人のためになる事をせねばなりません。

□衆生の恩

佛敎には衆生の恩といふものを說いてゐます、君恩父母の恩、師の恩は申すまでもなく、斯して世に立つ以上、大勢の皆樣卽ち世の中の人々の御恩をうけてゐるのですから、一つの職業が、たとひ自分にはよくても、他人に惡い、世の爲めにならぬ仕事であつたならば、やめなければなりません、そういふ世の爲にならぬ仕事をする人を、世間では賤業と賤む

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のです、其處へいつては皆さんの仕事は實に立派なものです、ます〳〵奮勵せねばならぬと同時に、それによりて自分一家も生活の助けになる事を、有難いとしみ〴〵感謝してますから忠實に働かねばなりません。

□働かずに美しい着物をきてゐる人

世の中には働かずに美しい着物を着て遊んでゐる人が多い、それを見て皆さんも定めし羨ましいと思ひませう、それは私も同情します、私共でも時々思ふ時があります、併し退いて考へて見て下さい、いくらよい着物を着飾つて歩きましても、その人の手にふれるものが世の何人をも益しない人に、何の價値がありませう、夫よりも皆さんの様に働いて、其の手になつたものが、多人數の便利をいふ仕事になるといふ仕事を計り、國家の爲になるといふ仕事をしてゐる方々の方が、どれ丈け人間としての價値があるかしれません、私は其方々の方に多大の尊敬を拂ひます、定め皆さんは御兩親のため弟さん妹さんのためにどんなによい娘であり、又よい姉さんであらるゝでせう、どんなに御家の方々に大切にされて御出になりませうと、自分の身に引き比べて、其の御滿足を御察し致します。私も始めは只すきで致した學問が、親が亡くなり一家を支へねばならぬ事になり、其覺えた學問で働きました、毎日朝から晩までテク〳〵と稼ぎました其のおかげで弟等も小僧にもやらず、養子にも出さずに大きくし、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

姉が難儀してゐるからと思ふので、皆心がけをよくして勉強しましたものですから、又よい御方に見いだされて、とう〳〵大學を卒業しました、それで私を大層大事にして呉れまして、今私は其の世話になり、安樂に日を送つて居りますので以前は自分の生活のために働きましたが、今は其のすべての天地衆生に對する御恩がへしだと思つて、唯で働いて小さい學校をやつて居ります。

□女の力の大きい事

女の力と申すものは、實に弱いやうで大きいもので一人の母や姉が心掛よくすれば、數人の弟なり子供なりの面倒を見てそれを立派に世に出す事が出來ます、それで私はつまらない人間ですが、弟が種々働いて呉れて居りますから、國家にも相當の事をしたのと同じだと思つて滿足して居ります、併しその當時の私は大變貧乏で着更もなく、袴は土曜から日曜にかけてぬひ直し、足袋は鼻緒の下で斜にはいで爪先を新しくしてはきました、それでもこの弟等が今に立派になつたら、笑ふ人譏る人を見返してやりませうと、心で威張つて居りました、皆さんも定めし其の通りでいらつしやるだらう、皆さん一人が陰でお働きになるため、弟さんなどが今に立派におなりになると、皆さんは二重にお國のために盡さるゝ事になります、いろ〳〵の點で皆さんと私とはよく似て居りますので、大變お親しい感が致します、何卒皆さんもお末が幸福になつて、今日の苦勞を茶話になさる運命がまゐりますやうにと祈つて居ります、只蒔かぬ種子ははへぬといふ言葉と、蒔いた種子は自分で刈らねばなりませんといふ事をお忘れ下さいますな、今皆さんは種子蒔の時季です、何卒よい種子をまいて、よい收穫をおあげになる事を希望いたします。

□私共の眞のたから

かくして皆さんはよくお働きになり、よい報酬を得

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ていらつしやいます、或方は夫を親に捧げ、弟妹に分ち、或方は全部自分のものとなりませうが、其何れでもよいから一部をさいて勉強して心の財産をこしらへて下さい、そして他は不殘よい方法を以て貯蓄して婚資をおつくりなさい、眞面目に働き、相當の婚資が出來たらば、一日も早くよい處を選んで結婚なさるとよいと思ひます、それ迄は大切な〳〵身體です女といふものは身體の操も心の操も、大切に〳〵して少しの傷もつけずに保護して良人の手に渡さねばなりません、力のない女は、親や家柄に守つて貰ふ身體を、皆さんは自分で守つて行かねばなりませんの、其處にもなみ〳〵ならぬ皆さんの辛苦と又偉い處がありますの、其上で母となつてお盡しになり始めて女として完全の務をお盡しになつたといはれます、昔の常盤御前や袈裟御前よりも偉いと思ひます、既に母として茲に働いて御出になる方（府下の女工四萬六千三百の内一萬の既婚者がある）はもう可愛いゝお子さん方の爲に、身も心も捧げつくして働き、よい教育をしてよいお子さんに育てあげねばならぬ事を何卒々々眞面目に考へて下さい一人々々の人間が自分よりよい子をあとにのこしてゆくので國が進歩します、そして皆さんのお力で日本國が立派に發展してゆきましたならば、皆さんは楠正成より、廣瀬中佐より、もつと〳〵偉い方なのです、この優良の子孫を殘すといふ事が人生の目的であるから、正しい心、健かな身體、潔い操をもつてこの人生の目的をとけた時、皆さんは偉いので、もしこれが出來ねば只の勞働者にすぎない、悲い事にはそう云ふ人の多い爲に、學者や軍人のやうな尊敬をうける事が出來ぬのです「人間のねうちは職業でもない身分でもない、境遇でもない、正しい心、健かな身體、清い操其した仕事が自分を益すると共に他を益し、延いて國家を富ます、自分が亡いあとは、自分にまさる子孫をのこしてゆく事にある、正成然り、靜然り、此人達は後世人心を引たゝす電氣の發明電話の發明、これ等は物質的に人を益します」何卒皆さんは其邊をよく眞面目に考へて、この土地の方々は他に偉れてゐるといはれて頂きたいと存じます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貞女お雪（二）

若葉子

瞽女に通ずる夫の不始末　藤三郎は翌日珍らしく出役した。歸つて夜になると必ずお八重を招く、三味線を彈かして藤三郎は遊里で覺えた俗歌を唄ふのである。斯くて非番で一日出勤せぬ日にお雪が「妾餘り父の許へも不沙汰をいたしましたから、今日は宿下りがいたしたう御座いますが、如何で御座いませう」

「參れ、お父上に宜敷く申してくれ、俺も此頃に訪ねる」お雪は松本十郎左衛門の宅へ行つた、父も母も大に喜んでゐるが、藤三郎の品行を苦にして、父は尋ねるが、お雪は

「此の頃は、毎日お役大事とお勤めに御座います」

「さうか、何にしろ、彼れは一度腐つた心故お前が餘程注意をしなくては不可ん」

「はい」と恰も藤三郎の代りにお雪が小言を聞きに來た如くである併し母はやつぱり我子可愛さに、却々歸へさぬ、正午頃から來てやう〳〵のことで、夕方に歸へつたするとお八重が來て相變らずに夫と俗歌を唄つてゐる。そも之れが原因で藤三郎は、お八重と醜關係を結ぶに至つた。お雪は此のことを耳にしたが、

「夫がそんな行爲をしたか」と一時は腹を立てたが、「お八重の身になつて見れば實に氣の毒である」と却つて同情して、八重を引取つてやらうと思つた。

或る夜、夫が遲く歸へつて來た

「いや、どうも今日出役中面倒な事が起つて無據く遲くなつた」

「それは〳〵さぞお疲れに御座いませう、就きましては少々お伺ひいたしたいことが御座います」

「何んだ」と答へたが、お雪は靜流の薙刀を巧にし、柔術の心得も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

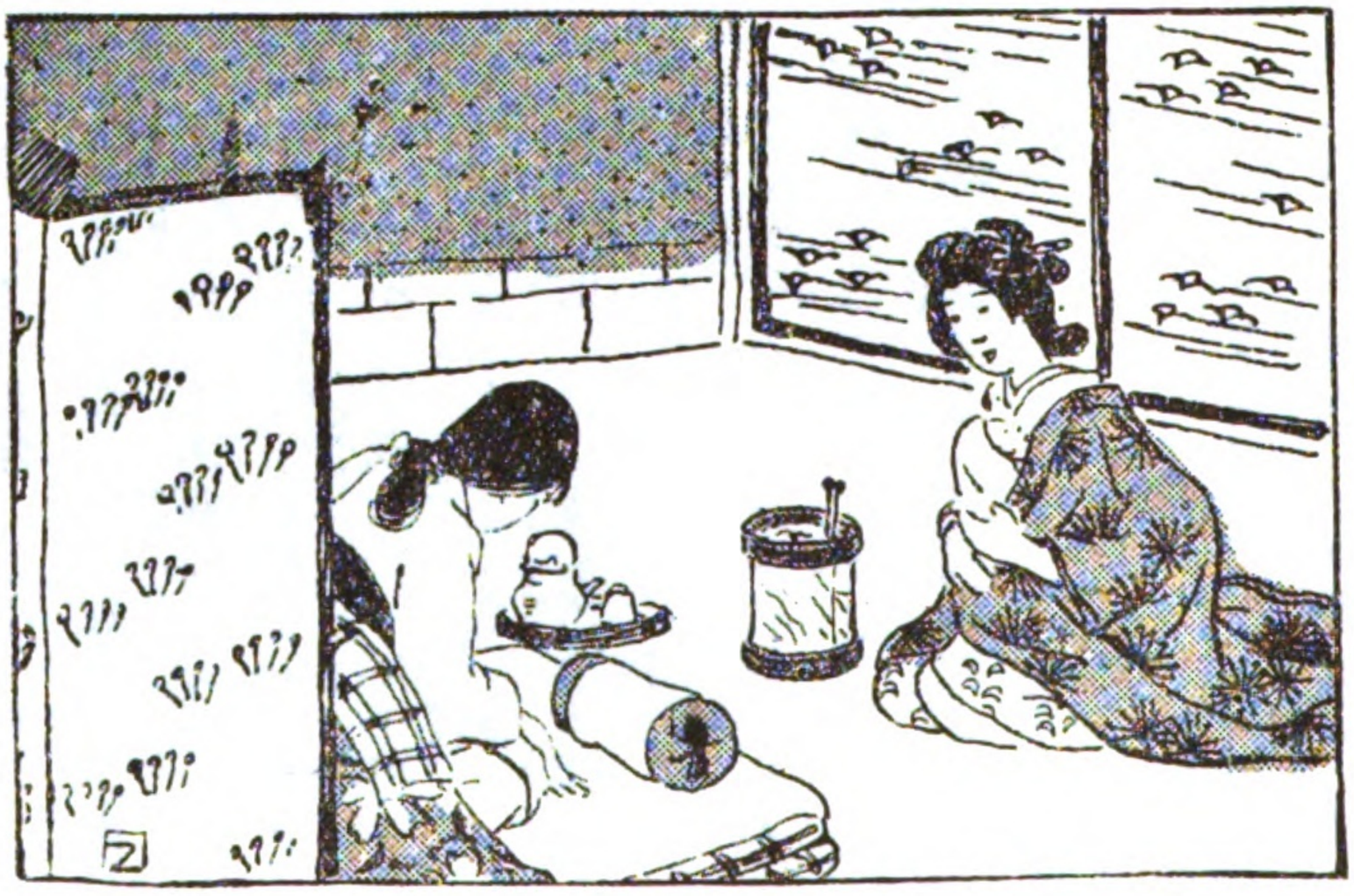
ある、之れを思ふと藤三郎は身體を震動したが、之れは詫るに若くはないと思つて、

「いや、何とも面目次第もない許してくれ、之れ此の通り」と手を突く、お雪は、

「何と云ふお情けない御量見で御座います、妾は貴下様の妻、其の妻に如何に悪いことがあるにもせよ、手を突くとは何んたる事で御座います、其れでも貴下は武士で御座いますか、農工商の上に立つ武士で御座いますか、侍で御座いますか」

「お雪や、其れでは俺がどうすればよいのだ」

「妾がかやう申してら御立腹にはなりませんか」とお雪は餘り夫の腑甲斐なさに腹も立てぬ、



「何で御座いますか、あなたはお八重にお手をお附け遊ばしたとの事誠で御座いまするか」

「いや、何とも赤面の至りだ」

「左様で御座いまするか、それで毎日々々お八重が參りまするが、貴下様のお居でなく氣まり惡るさうに立ち歸へります、承れば身重とか、貴下様のお胤を宿したとか申します、それを打ち捨てゝは座光寺家の家名にも關ること、それが眞なれば引取つて遣はしては如何で御座ります。」

「其の事はもう何とも申さぬ故、よいやうにお前がやつてくれ」と詫入りお八重は此の座光寺家に引き取られることゝなつた。月滿ちて玉の様な男の子が生れた。お八重は云ふに及ばず、お雪の喜び一方ならず、家督相續者が出來た と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

云ふので、早速公儀へお雪の子として屆け出た。それで座光寺の嫡子、藤二郎と命名し、自分の子の如くに晝夜、我が手より放さぬ。お八重は斯くまでに優しき主婦の恩を思ふて、袖をぬらすことが度々であつた。

はらはらと流すお雪の涙　藤三郎は、藤二郎の生れた事も、賭場で風の便りに聞いたのみである。此の事が藤三郎の本家の高山左京の許に聞えた。

「今迄は我慢に我慢をして居たがもうどうしても許す場合ではない。醫女に手をつけ、子迄生し、それもまだしも生兒の顏も見ずに放蕩三昧之れを此のまゝにして置けば今に如何なることを仕出かすかも知れぬ、親類の手前、一つには座光寺の家名の手前」と本家喜兵衛方を訪ねて、兩家で嚴しく叱責することになつた。第一に左京が來つたが折惡しく不在である。

「公儀に病氣屆けをしながら遊び居るとは不埒千萬」と下郎を呼び早々諸方を尋ね廻らしたの漸くにして藤三郎には、妻お雪より早々歸宅をいたせとの報で、何事と思つて歸宅すると、玄關に見馴れぬ雪駄がある。來客と思ひ、妻の部屋へ先づ入ると、丁度お雪が入り來る。

「何んだ」

「お歸へりなさいまし、お出迎へもいたしませんで、何時お歸へりなさいました」

「今歸へつたが、急に何んだ」

「あの左京樣がせひお目にかゝり度いとの事で御座ります、併し高山樣の申すことに可成逆はぬやうに遊ばすが宜しう御座います」

「彼奴か、厭な奴だ」

「それが不可ません、爭ふことのないやうにお願ひ申します」

「お前に心配さして濟まん、今行く」と身服裝を改めて客座敷へ出た。すると我より若年の本家の養子なる左京が床の間の方に座してゐる。

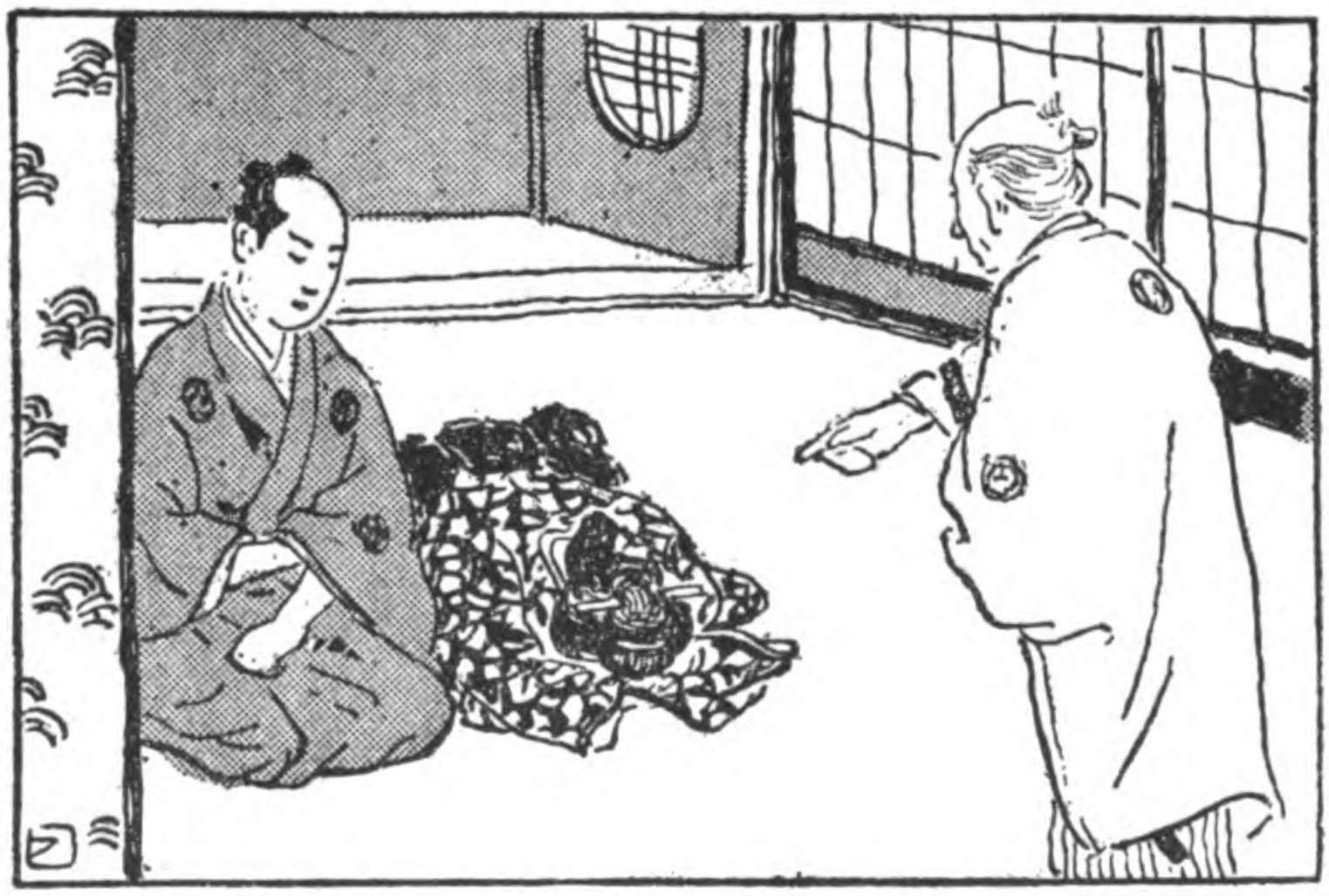
「之れはどうも實にお待せ申した」

「御病氣の由、然るに大分御血色が宜しいやうで御座るが」

「血色がよくて病氣であるのは御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身には分るまい」
「御身御父上御病死の折り何と仰せられた」
「何と申さうと拙者の父だ」
「斯程迄に申す此の左京の言葉を反古にするか」
「したらどうする」
「左様に其許が仰せられるならば此の場は此まゝにいたすが、藤三郎、今日迄も繼がりし縁を只今此の場で切つた、親戚と思ふて下さるな」お雪が中に入つていろ〳〵と詫びたが、どうしても左京は肯入れず、義絶に及んだ、此の事を本家の喜兵衛は聞いて、大に怒り、高山と同様義絶すると申送つた。藤三郎は「却つて仕合」と心得て、今迄の放蕩を悔る様子もない、お雪の父松本



十郎左衛門は「本家及高山の親身の親戚から義絶された、それをも顧ずに、日毎夜毎家を空ける、こんな者に娘は遣つて置けぬ、今日はお雪を連れて歸へらう」と決心して座光寺家に來つて「藤三郎殿、今日は拙者少々御身に申入れ度き事が御座る」
「はあ」
「他の事でもない、あのお雪は今日限り離縁をいたして頂き度い」
「之れは又如何なる譯けにて」
「理由も何も御座らぬ娘を連れて歸へるで御座る」
「離縁だとお望みあつても拙者はお雪を離縁いたさぬ」
「御身の所業は何で御座る、そんな者の處へ可愛い娘を置けるか、白痴奴」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「いや、お父上」
「貴様の樣な伜は持たぬわい」
「之れは失言仕りました、今迄の私の所業、何と申されても返答のいたしやうが御座りませぬ、之れからは決して放蕩はいたしませぬ故、どうか此の儀ばかりは御容赦を」
「何と申す、今更兎や角申したとて何になる、女々しいそんな者の處に娘が遣つて置けるか、連れて歸へる、さあお雪、一緒に參れ」
傍に聞いて居たお雪ははらはらと涙を流した。（つゞく）

親孝行のために髪を染めて居た

新任内務次官小橋一太氏に關する一つの逸話がある、小橋氏は温厚な性質で兩親に對しても忠實に仕へてゐたが、三四年前兩親が相前後して亡くなると其日まで黑かつた頭髪が俄に雪の如く白くなつて了つた、昔から頭髪一夜にして白しなどいふ事は聞くが、幾ら孝心に厚いと云つても悲しみの餘り斯うもなるものかと、親友二三子が訪問して其を發見して驚いて聞くと小橋氏の返事、「實は私は少年時代から白髪雜りなのでそれを母親が非常に氣にしてゐたから、毛染藥で今日まで胡魔化してゐたのだが、母親が亡くなつて見ると、もう必要がないから化の皮を剝いた譯だ、」小橋氏は學生時代は極貧弱な體格の癖に一升酒を平氣で煽つて氣焰を揚げたものだ、夫れでゐて成績は始終優等だつた——と同期生の一人なる法學博士内田宙造氏の談。（萬朝報）

＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お山の大將

（オトギバナシ）

一、

神樣が或る日、獸のお山へいらつしやいまして、其汚いのに吃驚なさつて、斯樣被仰いました。「可愛い獸達、お前さん方のお山は何んて可哀相なんでせう、此儘にして置くと惡い病氣が流行つたり、又暴風雨でも起つたなら直ぐと命が無くなります、お氣をおつけなさい」。

二、

兎の耳長が眞先に、其お言葉を呑み込むで嚙みしめて見ると、まつたく神樣の被仰る通りなので、お猿の赤助やら熊の黑藏やら、狐の白子さんなぞと、神樣の前に手を突いて「何卒神樣お助け下さい。立派な、命の無くならないやうなお山にして下さい。」とお願ひしますと、神樣は其時嚴かに「自分の事は自分でしなくばいけません」と被仰いました。それでお山の獸達は大勢集つて、お山會議を開きました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三、

「何をするにしても大將が無くつてはならないが、誰が大將になります」と、其時第一に兎の耳長が相談しました。「大將は昔から定まつてゐます。獅子の叔父さんでせう。」と熊の黒助が直ぐに答へました。すると猿の赤助がそれに反對しました。「獅子なんて自分勝手な奴で、俺等をいじめたりおまけにお山會議にも出て來ない仲間交際を知らない獣です。其上奴は新らしいお山を作るなんて頭のある奴ぢやありませんや」

四、

「それよりも僕が大將にならう、僕はね昔から利口だつて評判をとつてゐますし。人まねがうまいでせう、獅子のまねだつて何だつて出來ます。」と赤助が何所迄も云ひ張りました。すると狐の白子さんがそれに賛成しました。外の獣達も赤助がそんなに熱心なら大將にしてやらうと相談が定つて、それからは、えんやらやつこらさと、下水を流す溝をこしらへたり、暴風雨を除ける爲めにお城を築いたりいたしました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五、

するとそれを見て怒つたのは、お隣りの森に住むでゐる鳥達です。お山にお城なぞ築かれては自分達が食物を求める邪魔になると云ふので、鷲が大將になつてお山へと攻めて來ました。お山では吃驚仰天しましたが、戰さをするにしても、かんじんな獅子は自分が仲間外れにされたのを面白く思はないので、たゞ見てゐるばかりでしたから、大將のお猿がいくら赤い顏をして力むでも敵ひません。とう〳〵大負に負けました。

六、

戰爭に負けたので大將のお猿は「神樣があんな事を云つたから惡いんだ、神樣が默つてゐればお山を建て直さなくもよく、戰爭しなくつてもよかつたのだ。」と神樣を怨みました。

それを聞いた神樣はにこ〳〵お笑になつて、「力のある獅子を大將にしなかつた故惡い。力の無いお猿は人まねこまねは止して、自分は自分だけの力を出して、獸がみんな力を合してごらん、吃度立派なお山にする事が出來ます」と被仰いましたとさ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廢物利用の「美しい絞り染め」

□誰にも出來ます□

高村たか子

私は今月から讀者諸姉に遊ぶ時間と廢物を利用しお持ち合せの道具を使つて美しい、樂しみな絞染の方法を誰にも出來る樣に極めて簡易にお敎へしたいと思ひます。

必要の器具

一、針（皆樣がお持ちになつて居る針でよろしい）
一、糸（白で丈夫なものなら何でも有り合せの品）
一、古筆（よく洗つて墨氣を拔いておく）
一、茶碗（茶碗に限らずお白粉のあきビンや盃）
一、くけ臺（これに先の曲つて居るかけ針を買つて付ける、ヒモの長さ五寸位）
一、靑花（一名藍花とも申まして染料を賣る藥種店に有ります）

以上の器具は絞專用の器具に代用し得らるゝものですから別に新に絞の道具をお買ひにならなくとも大約は此等を使つて、見劣りのしない立派なものを絞る事が出來るのです。

器具の使用に付ては追々にお話を致します。

第一、手縫引きゾめ絞り

二本糸で普通に縫ひ引きゾめて、普通に止めたものです、糸をゾめる時より縫目を左の手で引く樣にし又止める時引きゾめた糸がゆるんで來ない樣に注意せねばなりません。

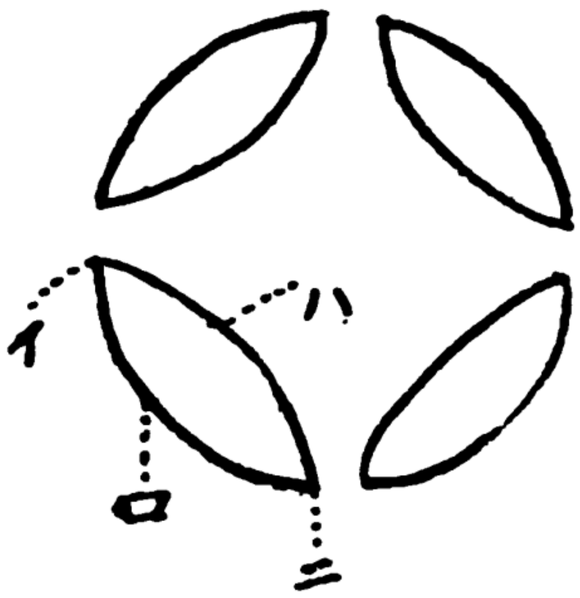
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

注意　絞は糸がゆるんで居ては染料が皆大切な絞へしみ込んでしまつて何の値うちもなくなつてしまひますから氣をつけてください。

第二、摘み縫ひ絞

これは布を二つに折つて其山を極淺く細かく二本糸で縫つてかたく引きめて止めるのです。

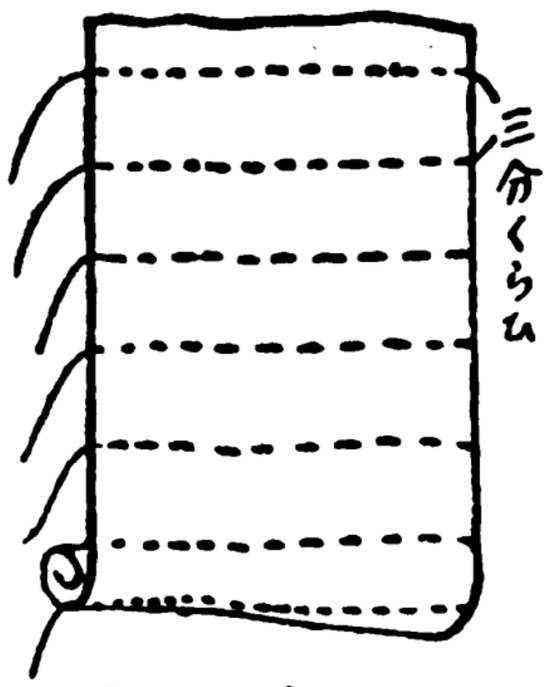
第三、合せ縫ひ絞



上圖の樣な形のものを、ロの筋とハの筋とを摘み合せてイの角からニの角まで二本糸で縫つて來てかたく引きめるのです。角から角をキチンとさせます。

第四、柳絞

尺巾なり五寸巾なりの布を上圖の如く最初に三分位の處を二本糸で横に縫ひ糸を一尺位長くして切つて位おきて横に縫ひ糸を前と同じに切つておき其下も亦其下も布の有る限り此通りに縫つてゆくのです。



さて縫ひ終つたらば前の手縫の引きめて絲を止めます、皆かうして絲を止めてゆくのです。

おきます。今度は上圖の如く引きめられた布のイの部分をくけ臺のかけ針に引つかけます、くけ臺は膝でおさへておく。先づ左の手で縫を握り右の手で絲を取り左の方から向ふ側へ廻して右の方へ持つて來てツマリ矢の向き通り左卷きに此絲をグルと左の小指に一カラミ絲をからんでおいてかたく卷きつけてゆきます、絲は縫目の極キワから下の縫目のキワまで卷くのです。

此時の絲の止め方は上圖の通りゆるく輪を作り其輪に絲の端をくぐらしてグッと引きます、此通りにして皆下の段も下の段も絲を卷いて止めてゆきます、手が痛くなる程かたく卷かないと柳がよく出ません。（以下四十頁へつゞく）

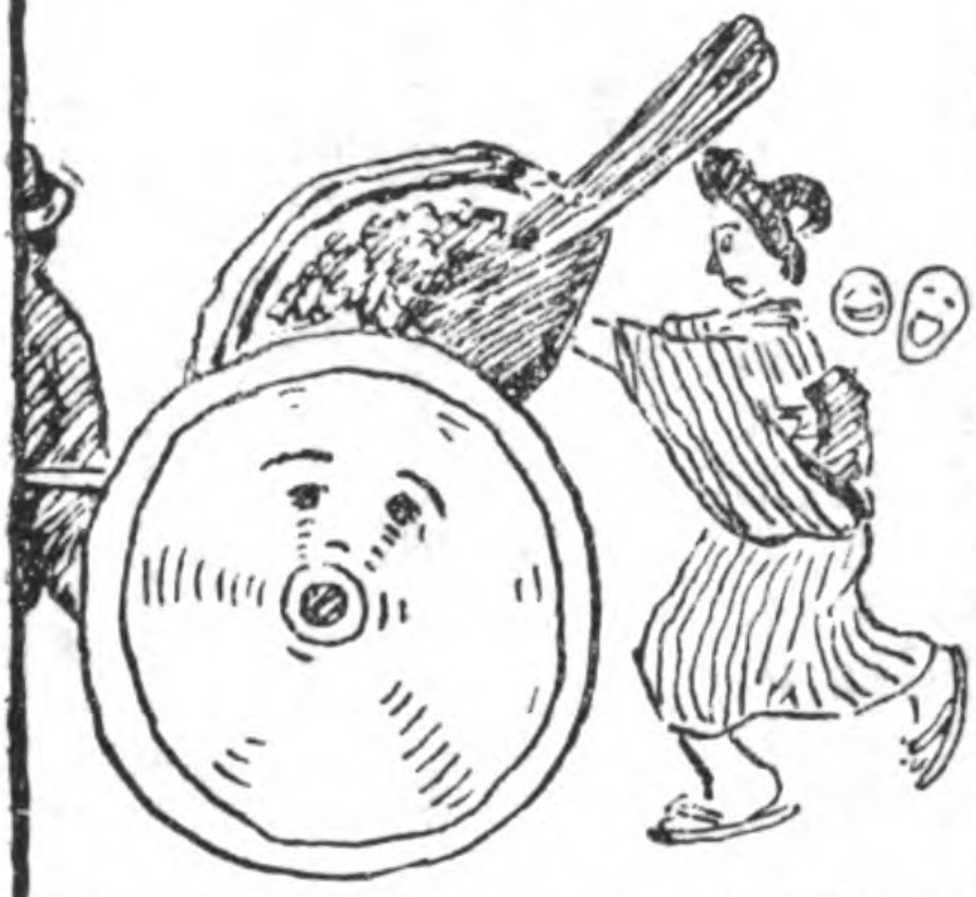
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近頃流行の野菜物安賣市場

オヤ〳〵（一）
人ごみを押し分けて野
菜物の一人じめ

オヤ〳〵（二）
買ふには買
つたがさて
どうして持つてかへらうか

オヤ〳〵（三）
やう〳〵思ひつい
たのは辻車の
雇ひ入れ



オヤ〳〵（四）
苦心して買
ひ入れたが
家族が少いので食べき
れずオヤ〳〵高いお野
菜だワ！

何に事でも油断すると此の通り！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初夏の身嗜み

（白粉のはなし）

美容研究所主任　小口みち子

前號では化粧をいたします前の準備のお話しを致して置きました繰り返して又同じやうな事を申述べるやうでは御座いますがどうしても下地からして立派に手入れをして置きませんと決して綺麗に化粧を仕上げる事は出來ませんから白粉さへ塗ればよいと云ふやうに化粧の事を極く簡單に考へないやうに皆様が注意をして下さる事を返すがへすも希望して置きます。

前號に書いて置きました事を充分にお守り下さるとして扨て次に白粉の事を少々こゝで申述べて見る事に致しませう、白粉とさへ云へば誰方でも直ぐに煉白粉の事とのみお思ひになりませうが煉つた白粉や固まつた白粉を水で溶いて煉つたやうな形にしてそれを顔に塗りますのは重に東洋の支那、朝鮮、日本等の婦人に限られた事で西洋の婦人方には煉白粉のある事すら知らない人が多いのです、煉白粉にもなかゝよい所がありまして決してけなした物ではありませんが少々工合のわるい所もあります、それは年を老つた方々又日常餘りお化粧をしない方や生地の極く美しくない方等が此煉白粉を平氣でお用ひになりますと、どう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しても態とらしくなく自然に見へ難いと云ふ缺點が御座います、午、芳の白和等と云つて惡口を云はれますのは此煉白粉の濫用をされた時に限る事で若しこんな時に水白粉を極くうつすらと塗つて置くか又は輕いクリームを下に敷きまして其上に粉白粉を刷いて置きさへしますと例令どんな時にでも決して「午、芳の白和」にはなりません、淡白とした化粧は何だか少々便り少ないやうな心持ちが致します故に誰方も煉白粉を多くお使ひになりますがどうしましても水白粉と粉白粉で仕上げた化粧の方が遙かに優つて居ります、生地の美しい年の若い方ならば何を使ひまして もそうおかしく見へませんがそうでない方は餘程氣をつけてお化粧をしなければなりません。

お湯に入つた時とか夜分寢る前等に煉白粉を襟や胸にぬる事は少しも差支ありません最も極く入釜しく衛生上の事を云ひますと今日の白粉と雖ども皮膚のために悉くよいとのみは云へませんが昔の鉛白製の白粉を用ひ來つた事と比べますとそれは〳〵大變な進歩の仕方で生地をひどく荒したりいたためたり病氣の因になつたりするやうなそんな恐ろしい事はまあ〳〵少う御座いますから俗に云ふ白粉によく皮膚をなじませるために煉白粉を使ひますことは差支ありませんが平常の極く薄化粧の時には水白粉を用ひまして其上を粉白粉で刷いて置く和洋折衷の化粧法が一番よいのですから其おつもりで白粉を使つて頂きたいと思ひます白粉の事はもつと〳〵委しくお話をする機會も御座いませうからざつとこれだけ書いて置きます。

●絞り染めのつゞき

此柳の段々を一ッおきに絲を卷けばッマリ俗に云ふダン〳〵染めが出來るのです。帶地とか襦袢の袖また子供の浴衣などに實によいものです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氣の利いた「お茶うけ」

山吹

◉草ことゝひ

もよぎの芽ばえをつみ土を洗つて根を除き、沸湯に入れて軟かく茹出ます。水にとりて數回灰分をながしよくしぼりて摺鉢に入れ、すりてペットリとなりしとき蒸したる上新粉を加へ摺木又はぬれ手にてこねませ、美しく草色になりしときよきほどにちぎり並餡を上にくるみきれいになせて大きい妻楊子に二個位づゝさし器に盛ります。餡は包まずに中に入れて上皮を草のまゝを現すも美し。上新粉を蒸すには上新粉を鉢に入れ沸湯にてこね手にて握りかたまる位になしかるく一握りづゝ作りて蒸籠に布巾を敷き其中にかるくおき色の變るまで蒸し、これを草と混ぜます。

◉磯の友

材料、メリケン粉三十匁、砂糖廿匁、水八勺位、醤油少し青海苔少し、並餡七十匁、ゴマ油少し、

メリケン粉と砂糖とを混ぜ水にて徐々に溶かし天麩羅の衣位になりしとき醤油を少し加へて風味をつけ、フライ鍋又は玉子焼鍋にゴマ油をぬりてきれいにぬぐひ青海苔をやきよきほどにもみて鍋にちらし右のとき物をたらし小判形にやき餡を包みてくるりと巻きます上に青海苔が出て美しく香味よしやけ方は小さき穴があきしんなりやけしをよしとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

梅雨期起り易い

リウマチスの手當

醫學士　樫田十次郎

▲昨今のやうな陽氣の變り目には リウマチス患者が多くなります。一體リウマチスは、寒さと冷えが一番多く發生の原因となるもので殊に梅雨に入ると、室内が濕氣を帶びますから一層患者を惱ますのであります。

リウマチスには急性と慢性とがあり、又人體の部分について云へば、筋肉へ來るものと關節へ來るものと二通りあります。慢性になると中々治り難いものですからなるべく急性の時に出來る限り身體を温めて靜かに横になつて居て一日も早く癒すやうにせねばなりません。之れを打ち捨てゝ置くと遂には慢性になつて何時迄も〳〵苦しまねばなりません。

▲急性リウマチスの恐るべきことは、心臟を冒かして心臟病の原因となることであります、慢性患者も平常は、左程でもないが雨天や天候の變り目に非常に惱みを感ずるものであるから成るべく冷えぬやうにし、又水仕事を避けるやうにしなければなりません。

▲此の病氣には何よりも冷える事が大毒であります。故に痛みの强い時には、出來得る限り身體を温めて、治療を加へ、同時にマッサージ（西洋按摩法）を試みて、關節が動かなくなるのを豫防することが大切で、少し位關節の動きの惡いのでも、上手にマッサージを施せば、回復することが出來ます。

▲假令永年の慢性患者でも、暖かな土地で、保養するとか、温泉に行くとかすれば、大抵は治ります。此の外近頃流行つてゐるデアテルミー其の他の電氣療法も非常に効力のあるものであります。即ち電光浴、又は蒸氣浴、熱氣浴等も勿論良法であります。

尙リウマチス性の神經痛や、挫骨神經痛、其の他神經に激しい痛みを起す場合にも前に云ふた通り患部を温めるのがよいのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

經濟的滋養飯の炊き方（三種）

みごり

玄米飯、南京米、豆粕飯が、白米飯に比べて其の價極めて安く、然かも其の滋養價に於いて遙かに白米飯を凌ぐことは、今私が茲に改めて説明するまでもなく皆さんの十分御承知なことであるにも拘はらず、何故もつと廣く一般の人々に常用されないのでありませう。其れは云ふまでもなく、其の美味しい炊き方を御存じないからであります。右三種の御飯も夫の樣にしてお炊きになれば白米飯よりも反つて美味しく頂かれますからぜひ一度お試めし下さい。

●玄米飯の炊き方

先づ玄米を磨ぎましたらばお釜の中に入れて一晝夜ほど水に浸けおき、愈炊くと云ふ時に白米の時の水加減より二三割多く水を入れ、初めは火を強く、吹き上つて來てからは弱火にして、氣長に炊き、火を引いてから蒸らす時間を白米飯の倍位にいたします。釜は米の分量に比べて少し大きい位のので、ゆつくりと炊くのが宜しいのであります。

●南京米の炊き方

近頃はお米が馬鹿に高いので外國米が盛に輸入つて參ります。之れを美味しく頂きますには先づ外國米一升に糯米一二合の割合に交せて磨ぎ、普通の水加減にして鹽一つまみ、酒五勺（なければよし）を加へて火にかけ、吹き上つて來ましたら一旦火を引き十分か十五分程其のまゝに蒸らして置き、水が殆どなくなりました時に再び弱火にかけて煙が細くなつた處で火を引き蒸らします。

●豆粕飯の炊き方

今度の田尻市長が盛に奬勵されて居ります豆粕飯の炊き方は白米一升につき豆粕三四合の割合にして先づ洗つてから混ぜ込んで炊くのであります。水加減は普通の御飯と同樣で、唯最初少量の鹽を加へて炊くと美味しく頂かれます。噴き加減は普通の御飯よりは烈しくあります。其の時は少し蓋を細目に開けて防ぎ、水分の全くなつて終はぬうちに火を引きますと、焦げずにフウワリと黄色味を帶びた御飯が出來ます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よい米屋を紹介します

一度試して御覽なさい

一記者

▲物價騰貴、物價騰貴と云ふ聲は、もう頭の痛くなるほど聞きましたが、分けてお米の高くなるのには之れ又開いた口が閉らぬ始末です。けれどもお米ばかしはいくらお高いからと云つて之れを少し食べて置くと云ふ譯には行きませんから、せめて其の買ひ方でも上手に工夫するより外に致し方がないと思ひます。此の間も、お米屋さんの申されるのには「お米ほどゴマカシの利く商賣はありません第一品でゴマカシ、升でゴマカシますからね——」之れと云ふのもつまりは私共買ひ方がお米についての智識がないからでありますですから平常直接臺所のことに當たる私どもが十分お米のことを知つて置くことは何よりも大切なことであります。が、併し昔から餅は餅屋と申しまして、素人の私共がどんなに骨を折つて研究したからとて多年此の事ばかりを商賣にするお米屋さんに及ぶものではありません。して見ればこれは何んでも世の中に比較的信用のある正直な米屋に信頼するより外に途はないと思ひます。記者は茲に思ひ付てから久しい間自分の行く先き々々で其れとなく此の米屋の評判を聞いて居りますが、どうも品が良くて升目が確かで美味しいお米を供給のはあの月島の東京精米會社ださうです。此處の華客は主に大きな會社や陸海軍のお役所ださうですが又一方には市中の各所に賣場を設けて一般の家庭へも一斗以上から屆けてくれます。併しこゝでは一切現金主義です。自分の小さい經驗からでもどうも通ひでとるお米は割合が高くついてゐるやうです。又米屋としてもこれは決して無理からぬことですから、何んでも安いお米を買ふと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思ふならば是非現金買ひにせねばなりません。

▲記者は先頃直接此の會社の主な方々について種々な事を尋ねて見ましたが、どうしても一つの會社となりますと普通市中の小さな白米店よりは總べてが大仕掛けである丈けに十分手を廻して出來る丈け安い玄米を買入る事が出來ますから自然外よりは安くも賣れるのでせう。而して搗く前に種々種類の違ふ米を適度に混ぜ合せて之れを胴搗式と云ふ昔風の杵で搗精るのです。之れを市中の白米店ではインゲル摩擦と云ふ機械搗きにするから味が非常に惡くなるのださうです。

其れから此の會社の升目の十分な譯けは終日ゆつくりと精白て、其れから三四日を經つてから一旦膨れた米が縮まつた頃に各所の華客に持ち廻るからです。然るにインゲル式で搗いた米は機械の力に由つて熱を起し、其の爲めに非常に膨れて容積を增して居る處を直ぐに配達するから二三日經つて之れを量れば必ず二三割はきれてゐるのは當然で、此の升切れの罪は米屋にあると云ふよりは寧ろ其の機械にあると申さなければなりません。とは會社の方のお話ですが、まあかう說明されて見れば强ち會社の自家廣告とばかりも請取れませんから何卒一度精米會社のお米をとつて之れ迄の米屋のと比較した結果を記者に迄お知らせ下さい

◉平民食堂

勞働者の黃金時代も絕頂を過ぎたが物價貴騰は中々下り坂に向はず中流以下の社會に於ける生活の難の叫びは次第に高くなつた、其の緩和の一として大阪府警察部では今宮村附近に平民食堂を設置する議熟し近々開設すべく目下準備中である道岡警察部長は曰く「未だ期日場所共決定してないが先今宮自彊館附近に開設する積りである同地附近は有名な細民部落で衣食住の不滿足から風俗を亂し犯罪を助長するなど樣々の惡因を造る現に勞働寄宿の自彊館の如き毎夜數百人の勞働者が舞ひ込んで來る樣であるが此等多數の貧民に衛生と經濟とを考量した合理的の食堂を開設してやりたい云々」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

櫻肉のお料理

料理の友主筆　田村なか子

未だ櫻肉を召し上がつた事のない方は不氣味に思ひになるかも知れません、執者も氣味惡く思ふ一人でありましたが獸醫學博士由中宏先生から「馬には牛や豚にある樣な結核性の病氣や寄生虫が居らぬつまり馬肉は衛生上安心の出來る滋養品である」とのお話を伺つて以來私の家庭では肉料理には大かた馬肉を用ひますが馴れて見ると中々味のよいものです次に數種を御披露致しますから早速お試し下さいませ。

◎櫻肉の芥子醬油

さつぱりと食べるにはこれに限ります、肉は大切のまゝ鹽を加へてお湯の中で茹でます、茹でる時に葱二本程と生姜の薄く切つたもの少し入れますと肉の臭味を消すことが出來ます、箸がらくに刺る位になつたら取り出し、冷ましてから一寸か二寸位の大きさに薄く切り皿に盛り、別に小皿に芥子醬油を入れて出します、芥子醬油と云ふのは灰汁拔芥子を醬油でといたものです。

◎櫻肉生姜燒

之れもさつぱりと食べられます、肉を生のまゝ薄く大きく切り、生姜を微塵に刻み、醬油に混ぜた中に浸けます、一時間位經つてから、炭火に金網をか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

け網の温まつた頃のせて燒きます。

◎お辨當の菜にもよい佃煮

櫻肉は並切りにし、古生姜は皮を剝いて薄く切り肉と交せ、醬油を少したつぷりかけ、三時間以上寒い時だつたら一日位浸けて置いた方がよいのです、浸汁のまゝ鍋に入れ、箸で搔き交せながら汁のなくなるまで煮て下ろし、器にあげ擴げて冷まします、冷しい處に置けば夏でも二日間は保ちませう。

◎美味しいライスカレー

五人前のライスカレーを揃へるには櫻肉五十目、馬鈴薯中三個、人參一本、玉葱又は日本葱若干、米五合、外にカレー粉、メリケン粉、鹽を少し要します。先づ肉は細かに切り、馬鈴薯は皮を剝き二分位の賽形に人參は一分角位に葱は細かに刻んで置きます、其處で人參と馬鈴薯とを茹でます、茹湯は捨てずに取つて置くのです、フライ鍋（鐵鍋なり何んでもよし）に脂肪を少し溶かし沸立つて來た處へ葱を入れ、肉を入れ搔き交せながら煎めます、煎まつた頃、取つて置いた茹汁を注ぎ入れ、カレー粉を小匙に三杯位少量の水で溶いて加へ入れ、メリケン粉を茶碗に輕く一杯位水で溶いて流し入れ、どろりつとした加減にし、鹽で味をつけて下ろし、温かい御飯を皿に盛り上からかけて食べるのです。

◎櫻肉のカツレツ

櫻肉を二寸位の大さに薄く切り、鹽をふりかけ、少時經つてから、メリケン粉をまぶし付け、次に玉子のよくときほどいた中に浸し、パン粉の中に移し入れ、能く周圍にまぶし付け、沸立つた油の中に入れ、からりつと狐色に揚げて取り出し、油を斷つて皿に盛ります、油はヘットからラードなら上等でありますが略せば胡麻の油でもよいのです。

◎ぬた

櫻肉は大切のまゝ茹でゝ薄く細く切り、葱は五分位に切り茹でゝ搾り、わかめは微温湯につけ細かに切り固く搾り以上三品を混せ酢をかけて置き其の間に味噌を能く摺り、砂糖で加減し、少量の酢でゆるめ、右の材料をざつと搾つて入れて和へるのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三浦樂堂

山城國愛宕郡蹴上といふ處に、樵夫を渡世としてゐる七兵衛といふ五十餘りの男がありました。もとより賤陋生活はいたしてをりましたが、何處となく濶大な誠に人の良い男でありました上に、連れ添ふ女房も至つて氣だての面白い女でありましたから、近所の評判は夫婦とも至極よろしうございました。

『どれそろ〳〵出かけませう。婆さんや、行つて來ますよ。』

どんつく布子に草鞋穿き鍬を肩に、女房が心づくしの行厨を腰にさげて七兵衛は、いつものやうに威勢よく我が家を出かけました。可成遠いゝ山通ひ、嶮阻な道の往復も、馴れゝばさして苦にもならないと見へまして、夕食の膳には女房がどんな御馳走を拵へて呉れるかしら、と、そんなことを考へ乍ら七兵衛は、スタコラ〳〵爪先上りの道を歩いてまゐりました。

木といふ木はモウみんな色を失つて、蒼い物は松ばかり。廣い〳〵山の中で、大きな聲で歌を唄ひ乍ら、彼方此方の樹に向つて鍬を振つてゐる七兵衛の顏には、浮世の人の誰もが持つてゐる苦勞といふものは微塵も見へません。丁々たる伐木の音が山から山、谷から谷へと響くばかり、鳥の聲さへ聞へ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ませんでした。

おいしい晝飯をたべて一と休み七兵衛の額に再び新らしい汗の滲み出た頃には、日足の短い冬の日はモウ暮れかゝつて參りました。七兵衛は歸り仕度にかゝりました。

女房は先刻から幾度か出たり這入つたりして、珍らしく遲い良人七兵衛の歸りを案じてをりました。

同じ山仕事から歸つてきた近所の人に尋ねますと、

『七兵衛どんならモウ歸つてゐるぞ。』

と、皆が一樣に申します。女房は愈よ心配いたしました。胸がドキドキして、からだが連りに顫へてきました。

何か途中に飛んだ間違があつたのぢやアないかと思ひました。臺所にあつた棒を取つて、右に倒れたら無事、左に轉んだら凶事としたのは、一丁の鉞と大きく束ねた枯枝でありました。ギョッとして女房は、近寄つてみますと、其の鉞は確かに良人の物でありました。

て、良人の運命の獨り占をいたしました。眼を塞いで棒を倒すと棒は忽ち左の方に倒れました。女房の顏色は見る〳〵眞蒼になりました。

堪りかねて女房は裾引からげて駈出しました。女房の腰には何時の間にか磨すました鎌が挾されてありました。

山の途中、大きな松の木の根かたで、急いで來た女房の眼に留つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した。さてわと思つて四邊を見廻しましたが、良人は影さへ見せませんでした。大きな聲で呼んでみましたが、自分の聲のこだまがへすのを聞くばかり、答に更らにありませんでした。

此時頭の上の松の木に變な音が一疋の大蛇が大きな口を一パイに開いて、自分の方を睨んでをりました。女房は思はず知らず五六歩後に退がりましたが、忽ち腰の鎌を取ると其れを振りあげ乍ら、再び大蛇の樣子に瞳を据えました。

大蛇は此時既に何か大きな物を呑んでゐると見へまして、其の腹は非常に膨んでをりました。此の女房は何思ひつてか、鎌をもつた儘松の木に登つて、大蛇の口邊に行きました。何の遠慮もなく大蛇は、女房をも唯一息に呑んでしまいました。

と、怪しむ可し!! 大蛇の腹は口邊から裂けて、呑れたばかりの女房は乍ち大地に溢れ落ちました。續いて又もや落ちた物は、良人の七兵衛でありました。『をゝ七兵衛さんか』、『婆さんか』兩人は手を取り合つて嬉し泣きに泣きました。

兩人の生命は何の故障も受けませんでしたが。頭は赤藥鑵に禿げてしまいました。土地の人は何時か兩人を『夫婦藥鑵』と呼び馴らしましたが、間もなく『夫婦藥鑵』の噂が御領主さまのお耳に這入つた時、御領主は女房の頓智と勇氣と貞節に感じて、色々の御褒美をくださいました。(完)

月謝のいらぬ女學校

今回下田歌子女史を校長に推し伯爾夫人板垣紺子以下百數十名の貴婦人の後援の下に大日本貴婦人慈善會の附屬事業として順心女學校といふので麻布の廣尾町七十九番地に設立された。

建坪は平家建百十三坪、二階建四十五坪、合せて百五十八坪である筈で式を擧げる筈であつた。

本月二十日に開校、板垣夫人は岐阜へ下田女史は病氣、旅行するので五月の七八日頃まで延期する事になつた此學校の特色は授業料は一切取らず學用品も殘らず與するので收容する學生は何れも所謂細民の子女の義務教育を終つた十二歳以上の女子、若しくは之に相當した教育ある者せるのを入學願者が補習科がある年修業年限は二年で之に數十名の志のある者は既に數十名の志願者がある年修業年限は二年で之に補習科が一年ある

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

浮世小路

「八丁堀の宵」

さすらひ

「ウイーゲープ」

「オイ〳〵そんな處へ小間物やは少し困るね」

「戯言云つちやいけません、今米のソップを呑んだところでさアそんな不經濟テナ事をして堪るもんですかハ……いゝ心持ですよねエ旦那此酒を呑んで北風に吹かれる心持テナありませんねエ

北風が寒いなんて抜かしやがる奴ア實際癪に障りまさアねエ――北風なんか涼しイてもんでせうアゝいゝ心持だ――旦那お乘んなせイ大丈夫御心配ありませんヒックリ返しやしませんよハ……ヒックかへしたつて旦那一人はヒックかへしやしませんよソン時アワッチも車も一緒にひつくりかへりまさア――ハ……大丈夫ですよ、イヤですかハ……酒を呑んだつて用心はいゝ男ですよ明日買ふ米の錢だつてチャンと此胴卷に有るんでさアー一寸さわりあチャランといふいゝ音たてやがらア畜生だまつて居やがれ、いやに有るふりしやがるぢやねエかハ……女房が來やがつてから十一年になるが米一粒でも心配なんかさせた事の無い男なんでさあハ……有りがてい御亭主樣ぢやねエかハ……」

八丁堀の繩のれんをくゞり出た車夫が、道巾一杯に車を引つぱりまはしながら大きな聲をしてのたくつて行く。

眞からいゝ心持らしいハ……と笑ふ聲には何の曇もない。

通りがゝりの人までが一緒にハ……と笑つてしまう。

處が小間物やの前へ來た。

「オイ小僧さんまげ形くんねエソノ向ふのデカイ奴を一ッ、おれんちのカゝアは頭が小セイからデカイ奴を一ッ奮發してくッつけさせるんだア、ソイカラその何と云ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

布だい、此まげ形へ巻く奴だ、ウンソイッだ、その赤いのはどうだい、若いんだからねエ幾才だつて――いゝぢやねエか年なんかきかなくたつて、どうせお前たア合性が悪るいよ何しろ世の中でおれより外に合性のいゝ野郎は無いてんだからなアゴーギぢやねエかハ……何でもいゝや、赤イの一ッくんねエ――オイ鏡アこゝへ置いたせナニ五厘のッリだ、ツルリなんか入りアしねエ――小僧さんお前に祝儀だ、ハ……また來るさ今度アもつと大きい奴を仕入れておきねエ此きれもグット赤い奴をなア――ハ……」

まげ形と手柄とを車の上へのせて人通りの多い八丁堀の夜店の中をつきあたりもせず岡崎町の方へと曲つて行つた。

何といふ罪のない俥やだらうと思つた。

家に居るのはどんな女房か知らないけれど、いきなり胸ぐらで「此野郎また呑んで來やがつて、明日の米アなんで買うんだよ、なんぼドヂな野郎でも、石コロや瓦かけぢや買へねエッてこと位は知つてるだらう。酒ばかり食やがつて居るくせに、亭主でございと大きな面出來ねエぢやねエかチト氣をつけやがれ此ドングリ野郎メ」

てな文句も云はれないだらう。

露次口を鼻歌かなんかで、いゝ心持で歸つて行つて「女房どの今もどりわしやんしたぞへ」とかなんとかあがり口から、赤い手柄と番外の大まげがたとを投げ出されたら、プフと吹き出さずには居られないだらう、たとへ結ふ事が出來なくとも來なくともかける事が出來なくとも「ホ……有りがたうございます」位は、どんなばちのあたつた口でも云はずには居られないだらう。

そこがほんとの人情といふものだ。

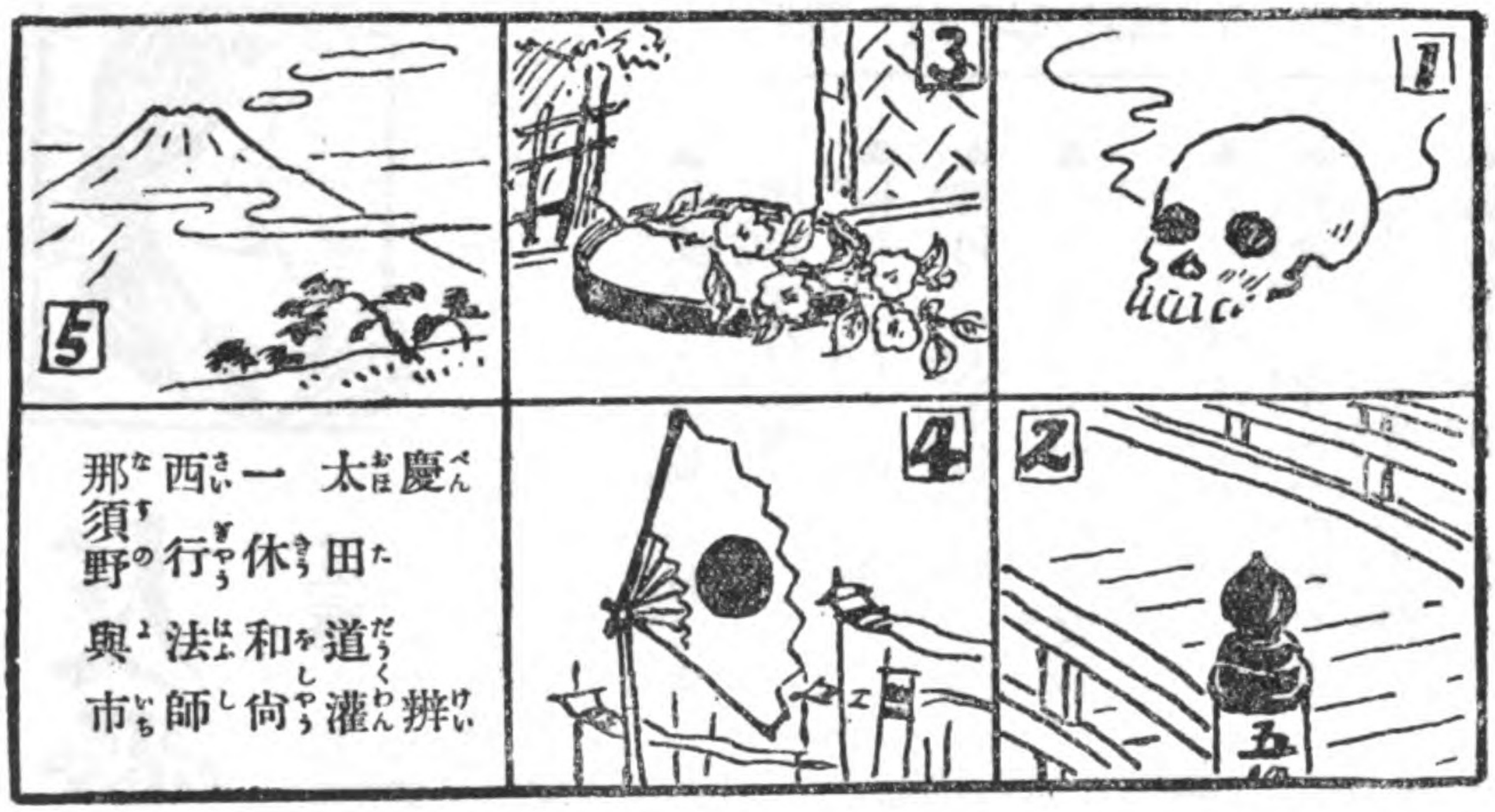
黄金を塵と間違へてザラ蒔きにする當世の成金やブーと屁をひりながらチク連を侮辱して往く自働車上の美人にのみ天は幸福を與へはせぬ。

カヽアとよばれる裏長屋の女房の胸にもかうした幸福があふれて居る。

彼等の身の上を美やむ貴婦人も有る事であらうと思つた、たとへものに不自由はしなくとも、考へて見ると幸福は運でなくて各自各自の心いきにあるものではないかと思ふ。そして心から生れた幸福の方が慥だと思つた。

＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



懸賞判じ繪（あて〻下さい）

上の繪の番號と、人の名とを合せて御覽なさい、分つた方はお答へ下さい。

□注意□

一、答はハガキ住所姓名をハッキリ書いて下さい。
二、締切は毎月十日。
三、正解者五名に日用品を上げます。
四、宛名は東京三田四國町友愛會婦人部。

前號の懸賞解答

「五月のお節句にはちまきを食ふやう」と解くのです。例によりて正解者をくじ引きにして左の方々が御當選なさいました。

□當選者□

蒲田　青木たつ　　王子　村田テイ
大井　小池梅子　　深川　深井ヒデ
大井　小藪うら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛文藝

懸賞募集規定

▲短文（一人一扁）一行二十字詰十行以内

▲和歌（一人五首以内）

▲俳句（一人十句以内）

▲一口ばなし（一人二文以下）

▲ものはづけ

▲賞金、一等（一圓）二等（五十錢）三等（三十錢）

▲締切毎月十日

注意

用紙は半紙、住所姓名は原稿に明瞭に書く事、自分で作つたのでなければいけません。

◉投稿は會員に限ります。

短文

二等 ◎眞の誇り

大阪 濱名そよ子

「女工だよ！」すれ違ひざま夫婦らしい二人は斯う囁いて冷笑したお君は何んだか侮辱されたやうでくやしかつた、が忽ち頭へこんな感じが浮んだ。

彼の女は女工だと卑んだが、あの人こそ虚榮のために自分の氣にも染まぬ男に生涯を身賣りして心に泣いてゐるんだわ、きつとさうだ、私達は働かねば食べられぬ代り心は何時も愉快だわ、眞の幸福は物質の滿足よりも心の平和にあるから、私は彼女よりも幸福だ、お君は二人を見返して微笑んだ。

秀逸 ◎初夏の朝

淺草 加太 福子

そよ〳〵と袂を輕く吹く涼風に今迄さむい〳〵と云つてちゝかんでゐた精神がのび〳〵として來た甘い、軟かい感じのする朝風にふれると心の中が躍り立つやうに愉快になる。

あゝ私達の活動すべき季節は目前に迫つてゐるではありませんかさあ、大に働きませう！

私はかう云つて我れと我が心に誓つた時、太陽はさも私の堅い決心を賞するかのやうに東の空に勢よく輝いてゐた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎櫻

大井　昌子

實に櫻は花の王！あの薄桃色の花は人の心を浮き立たせ、新緑の葉櫻はまた人の心を引きつける昔に歌に其の美しさをたゝへられ、何と幸福な事だらう。

けれど櫻にも嵐のやうな辛い時もあるのだ。

◎八年振りて故郷へ

■　戸　伊藤ひで子

「まあ、お久しぶりですね」と云はれた時、私は直ぐに返す言葉もなくて、思はず茫然として涙ぐんだ、それも其の筈、八年前までは男の二十人も使つて、酒庫の八棟も並べて、おかみさん〳〵と村人の羨望の的となつてゐた人が、昔に變る今の姿、昔の酒庫の跡には雜草が一面に生ひ繁つて、其の處々にシックイや瓦の破片が僅かに其の當時の榮華の夢を物語つて居るのも淋しい、そしてあの丸々と肥つた品のいゝ旦那が、今は荷車引きをしようとは

如何に定めなき世とは云ひながら、流石に慰めむ術もなくて唯無言のまゝ相手の顔を見まもつてゐた。

空には星かげが稀であつた。

和歌

秀逸　芝浦　秋山たか子

○しと〳〵と柳にかゝる春雨の中をつばくら行きつもどりつ

○玉川の流れは清く千代八千代永久にかはらぬ日の本の名と

○空蒼く風暖かき武藏野の春は樂しき玉川のほとり

○武藏野を横切る川の渡場に午後の日永を鶏のなく

■　戸　伊藤ひで子

○世渡りのみちに二つはなきものをふみはづしては身をも沈めむ

讀人しらず

○郵便となげ入る音に飛び出て取ればなつかし友愛婦人

讀人しらず

○さみだれの注ぐ夕べを物思ふ乙女の目にもつゆ宿るらむ

俳句

秀逸　芝浦　秋山たか子

○雨毎に春はゆきけり若みどり

○都人士の耳そばだつや初蛙

○物思ふ頃となりけり春のくれ

大阪　濱名そよ子

○朝つゆや隈なくひざす牡丹畑

○白牡丹庭一ぱいに朝日哉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人部便り

◎新役員

左の方々が本所支部役員に選擧されました。

山本ハル　菅原ヤスノ　北島ユキ
渡邊タケヨ　庄内キヨシ　尾島トシ
淺野アサヨ　榊原タキ　西谷ソノ
宮澤キク　佐藤スイ　船田トウ
野村ツチノ　宮下せん　槇田カネ
藤島トミ　工藤崎タツヨ
相浦ミト　前後キヨ　水島キク

吾嬬支部　委員　野カネ
葛合支部　委員　狩口富江
城北支部　委員　谷富永サダ

◎新入會者

左の方々が新らしく會員になられました、皆樣大に歡迎して下さい。

荏原支部(七名)
長田和喜　田部井シゲ　伊藤フヂ　伊藤ハマ
上田　杉田ヨネ　高岩リキ

城北支部(拾貳名)
千野フジ　村田テイ　富永サダ　深澤トシ
羽生ハツ　古渡タツ　川名チカ　根本カネ
市毛フユ　蔀　トメ　圓チヤウ　鈴木サダ

吾嬬支部(八名)
平口コヨシ　赤木　ツネ　丸山　モト
山川　ツワ　大平マツエ　武田　マス
高木　久子　藤木　トク

郡山支部(八名)
志村シサ　伊藤小花　川崎トラ　高橋サヨ
平栗シゲ　青木トリ　杉本フミ　橋本スイ

坂内扱本部直屬(八名)
小野關ツル　深井　ヒデ　關口　エイ
小島　ミツ　横田ハルヨ　牛場　ミネ
酒井　ハナ　下島ヨシノ
依田安吉氏扱(三名)
田島リヨウ　依田ケイ子　小沼コト子

本所支部(四名)
齊藤ハツ　柴野トリ　須崎マツ　渡邊トメ

川崎支部(三名)
岩淵ミヨシ　千葉トキ　峯島　サク

神戸葛合支部(二名)
米村　中田　かれ

綴　支　部(二名)
鈴本ミサヲ　高橋クラ子　稲月　マス
長倉支部(一名)　清澤キン
舞鶴支部(一名)　所　ソノ
神戸支部(一名)　大倉愛子

記者より一言

皆樣はそれ〴〵お忙しいおからだであるのにも拘はらず毎號澤山に御投稿下さいますことを記者は非常に嬉しく思つて居ります。

茲に一つ殘念なことは、時にどうかすると、どうも之れは他の雜誌やや本で確かに見た事があると思ふやうな文章や、歌などが舞ひ込んで來ます。

又判じ繪の答にも、一人の人が名前丈けがちがへて出したと思はれる樣なのがよく來ますが、記者はかう云ふのは絶體に掲載せぬことにいたして居りますから此のことを豫め皆樣に申上げておきます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月刊雜誌『友愛婦人』

▲代金は總て前金を申受ます。

▲御送金は振替貯金郵便切手代用の三種ある。

▲振替貯金は尤も簡便確實であります。

▲拂込用紙は郵便局で無代で呉れます。

▲振替貯金の口座番號は東京三一五七

▲郵便の爲替の時は『受取人宿所氏名指定欄』に東京芝區友愛會本部と御書き下さい。

▲切手代用は一割増の事。

▲着金の時は直ちに送本し別に受領證を出しません。

▲御送金の報知、註文、問合は會計部宛に願ひます。

▲御轉居の時は新舊兩方の住所を御書き下さい。

定價

冊數	定價	郵税	合計
一冊	十錢	五厘	十錢五厘
半ヶ年分六冊	六十錢	無料	六十錢
一ヶ年分十二冊	一圓十錢	無料	一圓十錢

廣告料

御申越次第社員參上

御相談仕ります。本誌は工女女事務員電話交換手等の職業婦人、職工の家族等を會員に有してゐますので他の婦人雜誌の廣告以外の方面に對して甚だ有効であります。

大正七年六月號
大正七年六月一日　毎月一回發行【第三卷第六號】

東京市芝區三田四國町二番地
發行兼編輯人　鈴木文治

東京市芝區櫻田太左衛門町四番地
印刷人　天沼藤太郎

東京市芝區櫻田太左衛門町七番地
印刷所　英舍製

不許複製

東京市芝區三田四國町二番地
發行所　友愛會本部
振替東京三一五七　電話芝五八五五

發賣所
●東京堂　●同文館　●北隆館
●良明堂　●東海堂　●文影堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正六年六月二十八日（第三種郵便物認可）
大正七年五月廿三日印刷納本（六　月號）（毎月一回一日發行）「友愛婦人」第三卷六號　定價金十錢　郵税五厘

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

追録

（大正六年十二月号）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA